

地域アクションプランの 上半期の進捗状況等

・安芸地域	1
・物部川地域	15
・高知市地域	27
・嶺北地域	36
・仁淀川地域	51
・高幡地域	72
・幡多地域	89

安芸地域アクションプランの進捗状況等

H 2 8 . 9 . 1 2
安 芸 地 域 本 部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

全項目（31 項目）について、実行支援チームを編成し、各市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みと歩調を合わせて、市町村や関係団体、民間事業者等との連携・協働により、それぞれの目標達成に向けて各地域アクションプランの取り組みを推進している。

農業分野では、ユズについて、果実の品質アップに向けた栽培講習、改植事業等の勉強会などを開催するとともに、果汁等の安定供給と販路の開拓などに向けた協議等を行っている。

林業分野では、土佐備長炭について、室戸市有林の立木の売却について検討を開始するなどの関係者協議を進めるとともに、新規研修生の受入による後継者の育成に取り組んでいる。

水産業分野では、定置網漁業の漁獲物に高鮮度処理を施すことによる付加価値向上や、民間企業との連携による販売促進に取り組んでいる。

また、シラスについては平成 24 年度に整備した加工施設の加工処理能力の向上に対応できるよう、漁業者と加工施設との連携の強化などにより、漁業生産体制の構築をしていくとともに、販路拡大などに取り組んでいる。

観光分野では、高知県東部観光協議会を中心とした東部地域での広域的な観光振興の取り組みが始まっており、5 月末には教育旅行の受入を実施するとともに、旅行会社へのセールス活動や県外イベントでの PR 活動を行った。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No.1 ユズを中心とした中山間振興（室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 土佐あき ・ J A 馬路村 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>(J A 土佐あき)</p> <p>青果出荷受入量(1～12 月) : 500 t <H26 : 449t></p> <p>加工仕向量(1～12 月) : 5,000 t <H26 : 4,489t></p> <p>(J A 馬路村)</p> <p>加工品販売額 (1～12 月) : 36 億円 <H26 : 32 億円 ></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>(J A 土佐あき)</p> <p>青果出荷受入量(1～12 月) : 350t</p> <p>加工仕向量(1～12 月) : 4,800t</p> <p>(J A 馬路村)</p> <p>加工品販売額 (1～12 月) : 32 億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新植・改植の推進 (J A 土佐あき) <ul style="list-style-type: none"> ・ 栽培講習、改植事業等の勉強会 (16 回) ○ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓 <ul style="list-style-type: none"> ・ 加工原料の品質ワンランクアップ (J A 土佐あき) (勉強会等(品質向上に向けた栽培指導等)の開催:15回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・販路拡大に向けた活動(産地交流イベント等)の継続 (JA土佐あき、JA馬路村) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果実品質の向上と安定供給、販売強化 ⇒取り組みの着実な継続
<p>■No.2 ポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンカン生産者 ・甲浦の果樹仲間 ・東洋町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>商品数:4アイテム(累計)<H26:2アイテム> 既存商品の販売数(1~12月):5,000本 <H26:3,584本></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>商品数:3アイテム(累計) 既存商品の販売数(1~12月):4,000本</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月に大阪府内の飲食店3店舗への営業活動:1回 ・新商品の開発:1アイテム(甲ちゃんのポンカンジュース) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月から販売開始したストレートジュース「甲ちゃんのポンカンジュース」のブラッシュアップ ・既存商品「甲ちゃんのポンカンドリンク」「甲ちゃんのポンカンとゴマのドレッシング」の販路拡大 ・新商品の開発 ⇒商談会への参加や専門家を活用した既存商品のブラッシュアップ、菓子類の商品開発、飲食店等への営業活動による販路拡大
<p>■No.4 白下糖の生産拡大と新商品の開発(芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村 ・芸西村製糖組合 ・生産者グループ 	<p>[目標(H31)]</p> <p>サトウキビ収穫量:45t<H26:34t></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>サトウキビ収穫量:35t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培歴の検証と消費拡大についての関係者協議:2回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培歴の検証 ⇒H26に収穫量拡大を目的として作成した栽培暦に沿った栽培の進捗状況調査 ・製糖体験メニューの磨き上げ ⇒最少催行人数などについて関係者間での協議・検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化(室戸市、東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市木炭振興会 ・室戸木炭生産組合(仮称) ・土佐備長炭生産組合 	<p>[目標(H31)]</p> <p>出荷量 : 1,580 t <H26 : 1,076 t ></p> <p>新規就労者数 : 26 人 (H28~31 累計)</p> <p style="padding-left: 20px;"><H24~27 11 人></p> <p>製炭窯設置 : 21 基 (H28~31 累計)</p> <p style="padding-left: 20px;"><H24~26 増設 7 基></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>出荷量 : 1,260 t</p> <p>新規就労者数 : 6 人</p> <p>製炭窯設置 : 5 基</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産量、原木調達状況等の状況調査 ・振興策の検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木の安定供給 <ul style="list-style-type: none"> ⇒室戸市有林の売却支援(分配方法の提案等) ⇒原木伐採のための作業道開設への支援
<p>■No.6 林業加工品の販売の促進(馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)エコアス馬路村 ・馬路林材加工協同組合 ・馬路村森林組合 	<p>[目標(H31)]</p> <p>木製品出荷額 : 277,000 千円 <H26 : 251,910 千円 ></p> <p>加工部門雇用者数 : 27 人 (現状維持) <H26 : 27 人 ></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>木製品出荷額 : 258,000 千円</p> <p>加工部門雇用者数 : 27 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業主体の販売額などの状況調査 ・振興策の検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市の情報発信拠点の閉館 <ul style="list-style-type: none"> 森の情報館・ECOASU 馬路村(高知市南御座)で住宅相談会を開催していたが、同館が H27 年度末に閉館したため、建築士との新たな企画、会議の場の設定が必要 ⇒新たな情報発信手段の検討
<p>■No.7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大(室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町)</p> <p>《事業主体》</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>高鮮度処理魚の販売額 : 20,000 千円 <H26 : 0 円 ></p> <p>簡易加工品の販売額 : 3,000 千円 <H26 : 0 円 ></p> <p>加工品販売額(有タカシン水産室戸工場)</p> <p style="padding-left: 20px;">: 1.5 億円 <H26 : 0.8 億円 ></p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>[定置網漁獲物]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市定置漁業振興協議会 ・中芸定置網漁業振興協議会 <p>[水産加工]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)タカシン水産 	<p>[H28 到達目標]</p> <p>高鮮度処理魚の販売額：2,000 千円 簡易加工品の販売額：300 千円 加工品販売額 (有)タカシン水産室戸工場)：80,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高鮮度処理の取り組み (室戸市定置協) <ul style="list-style-type: none"> ・定置網漁業者への技術指導を実施 (11 回) ・高鮮度処理魚の販売額：14 千円 (8/3 現在) ○簡易加工品の製造販売 (中芸定置協) <ul style="list-style-type: none"> ・水産加工販売施設「加領郷魚舎」が開所 (5/4) ・簡易加工品の製造を加領郷魚舎へ委託、生産体制を構築 ・ニロギのオイル漬けの販売額：24 千円 (8/3 現在) ○タカシン水産による取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・新たな県版 HACCP (ステージ 2) の認証取得に向け HACCP 講習会に参加 (7/20・7/21) ・加工品販売額：12,048 千円 (5 月末) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高鮮度処理の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・高鮮度処理技術の定着 ⇒定置網漁業者への高鮮度処理技術の指導による定着及び実施体制の構築 ○簡易加工品の製造販売 <ul style="list-style-type: none"> ・加工品の生産拡大 ⇒新商品の開発と販路の開拓 ○タカシン水産による取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理者の育成 ⇒HACCP 講習会への参加を通じた育成
<p>■No.8 安芸市のシラス漁業者所得の向上 (安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸漁協 ・(株)安芸水産 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>水揚げ金額 (1~12 月)：210,000 千円 <H26：201,740 千円></p> <p>シラス漁獲量 (1~12 月)：420 t <H26：393t ></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>水揚げ金額 (1~12 月)：220,000 千円 シラス漁獲量 (1~12 月)：400 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鮮度維持や先進地視察の実施について安芸水産と協議：3 回 ・安芸「ちりめん井楽会」実行委員会：3 回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラスの付加価値向上に向けた取り組み ⇒安芸市の「じゃこシティ」ブランド化の取り組み

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 10 キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 ・協同キラメッセ室戸(有) 	<ul style="list-style-type: none"> ・加工施設に見合った原魚の確保 ⇒安芸及び周辺地域からの原魚の確保 <p>[目標(H31)]</p> <p>売上高 : 370,000千円<H26:308,334千円> 来場者数: 260,000人<H26:230,887人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高 : 350,000千円 来場者数: 250,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊による庭先集荷の実施(中川内地区) ・中山間農業複合経営拠点セミナーへの参加 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏場の生鮮品不足 ・農産物出荷者の高齢化に伴う商品量の低下 ⇒中山間農業複合経営拠点セミナーを通し、運営主体による農業経営の可能性及び持続可能な集荷体制の構築を検討
<p>■No. 11 海の駅東洋町を拠点とした地域振興(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東洋町 ・東洋町観光振興協会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高 : 168,990千円<H26:141,938千円> 来場者数: 180,000人<H26:157,790人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高 : 162,412千円 来場者数: 180,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の受入 (修学旅行生169人分の昼食(弁当)の提供と土産物の販売) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体客など多客時の対応 ⇒施設の改修や受入体制などについて関係者間での協議
<p>■No. 12 有害鳥獣を活用した商品開発と販路開拓(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)熊谷ファーム 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高: 20,000千円<H26:0円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高: 13,500千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町単補助金の活用により自社HPを作製中(9月完成予定) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工場の整備 ⇒既存公共施設(廃校跡)の活用などについて検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進(奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・JA 土佐あき ・奈半利なんでも市加工グループ ・奈半利のおかって加工グループ ・加領郷魚舎加工グループ 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>J A加工施設(奈半利味噌)の売上高 : 9,120 千円 <H26 : 5,140 千円></p> <p>農水産加工施設の売上高 : 9,000 千円 <H26 : 0 千円></p> <p>水産加工施設の売上高 : 12,000 千円 <H26 : 3,220 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>J A加工施設(奈半利味噌)の売上高 : 7,887 千円 農水産加工施設の売上高 : 5,000 千円 水産加工施設の売上高 : 5,600 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○農水産加工施設(奈半利のおかって)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業開始(5/3) ・加工グループ、各関係機関やアドバイザーとの協議(23回) ・食品表示勉強会の実施 ・メディア内覧会の実施 <p>○水産加工施設(加領郷魚舎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業開始(5/4) ・加工グループ、各関係機関やアドバイザーとの協議(16回) ・相談会及び商談会への参加(6回) ・食品表示勉強会の実施 ・メディア内覧会の実施 ・中芸定置網漁業振興協議会から簡易加工品(ニロギのオイル漬け)の生産を受託 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工商品の販路拡大及び販売体制の強化 ⇒積極的な商談会への参加による販路拡大及びアドバイザーによる指導やグループとの協議による販売体制の強化
<p>■No. 14 完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田野町 ・民間事業者 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>体験受入回数 : 28 回<H25 : 24 回></p> <p>受入人数 : 計 1,423 人(体験 271 人、見学 1,152 人) <H25 : 計 1,186 人(体験 226 人、見学 : 960 人)></p> <p>塩関連での就業者数 : 10 人(累計) <H26 : 2 人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>体験受入回数 : 25 回</p> <p>受入人数 : 計 1,245 人(体験 237 人、見学 1,008 人)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>(産業振興)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28年6月町議会で、塩職人養成に向けた補正予算(製塩ハウス用地取得費及び建設実施設計委託)を措置 ・今年度中に用地取得と実施設計を行い、H29年度に製塩ハウス2棟を建設予定 ・製塩ハウスを民間事業者又は塩職人希望者に賃貸し、民間事業者の指導のもと、塩づくりの修業と塩の増産に活用する方向 <p>(観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なる集客が見込まれる新たな体験メニューの造成 ・地域内での周遊促進のため、今後、志国高知幕末維新博と連動した取り組みを行う予定 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>(産業振興)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完全天日塩の活用による産業振興に向けた計画の策定と実行 ・塩職人希望者の受入れ、育成、独立後の環境整備に向けた関係者間での調整 ⇒今年度中に製塩ハウスの用地取得及び実施設計の策定を実施 <p>(観光)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製塩体験施設の運営体制の確立 ・集客のためのPR ⇒志国高知幕末維新博に向け、田野町の観光クラスターの構成施設に位置づけ、磨き上げを図ることによる集客力のアップ
<p>■No. 15 道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取組(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田野町 ・道の駅指定管理者 ・加工施設指定管理者 ・生産者組織 ・地域団体 	<p>[目標(H31)]</p> <p>年間売上高(1～12月): 400,000千円 <H26: 258,729千円></p> <p>年間入込数(1～12月): 265千人<H26: 221千人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>年間売上高(1～12月): 294,047千円 年間入込数(1～12月): 232千人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町、道の駅指定管理者及び地域本部による情報共有会議の開催(4月～、月1回開催) ⇒看板や冷蔵庫等の設備整備、トイレの洋式化(今年度中の実施を予定)、町広報への生産者募集記事掲載、新たな夏期イベントの検討などの取り組みが進行

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の方向性について町の方針の明確化 (機能強化のための施設整備等、小さな拠点化など) ・ 直販・飲食機能の強化 (店舗の狭隘^{あい}、生産者の高齢化に伴う野菜等の商品不足、地産外商への取り組み等) ・ 地元食材を活用した魅力ある加工品の開発・販売の強化 ・ 情報発信機能の強化 ・ 人材育成 ・ 町と道の駅指定管理者間の情報共有体制の確立 ⇒情報共有会議の継続による、関係者間での課題の共有
<p>■No. 16 地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化(芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芸西村 ・ (有)かっぱ市 ・ 生産者グループ 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：200,000千円<H26：135,000千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高：165,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新商品試作 ・ 販売計画目標と新商品の開発に係る進捗管理、集荷システムの導入の検討、集落活動センターとの連携等について関係者協議：2回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 花卉類等の出展量の確保 ・ 新商品の開発 ⇒相談会等への参加・テストマーケティングの実施 ・ 製糖体験メニューの磨き上げ ⇒最少催行人数などについて関係者間での協議・検討
<p>■No. 17 安芸地域の観光振興の推進(安芸地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (一社)高知県東部観光協議会 ・ 安芸広域市町村圏事務組合 ・ 市町村 ・ 観光協会等 ・ 地域団体 ・ 民間事業者 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>圏内主要施設訪問者数(圏内観光施設、体験プログラム、直販施設及びイベント集客数)(1~12月) ：2,606,000人<H27：2,401,821人></p> <p>圏内宿泊者数(1~12月) ：150,000人<H27：138,229人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>圏内主要施設訪問者数(1~12月)：2,402,000人 圏内宿泊者数(1~12月)：139,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東観協が新たなパンフレット(土佐食日記)を配布(4月) ・ 東観協の事務局次長1名及び企画スタッフ1名配置(5月) ・ 志国高知幕末維新博関連のアドバイザーが東部地域の各観光施設を訪問してアドバイスを実施(4回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・土佐の観光創生塾開催(3回) ・旅行会社等へのセールス活動(11日) ・県外イベント等でのPR(2日) ・教育旅行の受入れ(1件) ・東部地域の広域イベント(「安芸・室戸パシフィックライド2016」(12/4開催予定))の実行委員会開催(1回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行における農業や漁業の体験学習の時間設定や天候不順の際の対応 <ul style="list-style-type: none"> ⇒11月(1校)及び来年5月(4校)の教育旅行の受入れに向けた、受入実績を踏まえた課題の共有及びその改善策の検討 ・教育旅行における民泊登録世帯の増 <ul style="list-style-type: none"> ⇒各市町村担当者とともに民泊候補の世帯を訪問し、掘り起こしを実施(8月～)
<p>■No.18 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大(奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・田野町 ・安田町 ・北川村 ・馬路村 ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>ツアー等による林鉄ガイド実績:1,500人<H26:846人> 拠点施設年間来館者数 :1,000人<H26:0人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>ツアー等による林鉄ガイド実績:1,300人 拠点施設年間来館者数:- (拠点施設未整備)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧魚梁瀬森林鉄道施設保存活用計画策定協議会総会の開催 ・日本遺産申請に向けた各関係機関との協議を実施 ・中芸広域連合長・副連合長会において、日本遺産申請に向けて中芸5町村で取り組むことに合意 ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会総会出席者に対し林鉄セミナーを実施(1回) ・林鉄ガイド実績:11回実施(計210名) ・日本遺産申請に向けた推進協議会設立準備会を開催(7/6、7/28) ・「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会設立総会開催(8/5) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚梁瀬森林鉄道遺産の活用と普及啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ⇒日本遺産への申請に向け、中芸5町村が主体となって取り組みを進めていくための連携体制の構築 ⇒日本遺産申請のための組織に参画する各種団体との調整

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 19 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 ・室戸ジオパーク推進協議会 ・室戸市観光協会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>ジオパークガイド利用者数 : 10,000 人 <H26 : 7,869 人></p> <p>室戸世界ジオパークセンター入館者数 : 70,000 人 <H26 : 0 人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>ジオパークガイド利用者数 : 8,000 人 室戸世界ジオパークセンター入館者数 : 70,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <p>(室戸ジオパーク推進協議会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「ジオパークで見る日本の地質 in 室戸ユネスコ世界ジオパーク展」開催(4/23~6/30) ・企画展「室戸ユネスコ世界ジオパーク深海博 2016」開催(7/1~8/31) ・室戸世界ジオパーク推進協議会総会(5/18)にて、室戸ジオパーク第3期実行計画(2016~2019)を策定(室戸市) ・H28年6月市議会で室戸世界ジオパークセンターの展示内容を充実させるための補正予算を措置 ・ジオサイトの磨き上げ(御厨人窟の活用検討) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオツアーに関わる人員の確保 ⇒ジオツアーの開発、磨き上げについて協議するジオツアーリズム推進チーム会を開催し、ジオツアーの実施体制について検討 ・ジオパークセンターの機能強化 ⇒展示内容の見直し(海底地形のジオラマ、生痕化石のレプリカ制作等) ⇒センターを拠点とする周遊モデルコースの造成
<p>■No. 20 「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人室戸ドルフィンプロジェクト ・室戸黒潮協同組合 ・(一社) うみ路 ・室戸市 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数 : 31,000 人 <H26 : 24,431 人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数 : 30,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸ドルフィンセンターでのイベント実施 : 5 回 ・教育旅行の受入(カツオのたたき作り体験) : 1 回

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存体験プログラム(カツオのたたき作り体験やイルカとのふれあい体験)の周知 ⇒事業主体による個々のPRのほか、施設内の事業者で連携した広報を検討
<p>■No. 21 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進(安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 安芸市 安芸市観光協会 漁協 伊尾木あなごう保存会 内原野陶芸館 JA土佐あき 安芸市観光ボランティアガイドの会 廓中ふるさと館 メリーガーデン はたやま夢楽 安芸「釜あげちりめん井」楽会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>市内年間観光客数 : 300,000人<H26:196,895人> 市内年間宿泊者数 : 25,000人 ちりめん井販売食数 : 45,000食<H26:40,846食></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>市内年間観光客数 : 208,000人 市内年間宿泊者数 : 25,000人 ちりめん井販売食数 : 45,000食</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 開幕予定の志国高知幕末維新博に向けた、リアル化、クラスター化計画の策定を行うための協議会の立ち上げ <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 周遊観光メニューの充実 体験プログラムの新たな造成と磨き上げ ⇒シラス漁、果実収穫作業等のモニターツアーを計画
<p>■No. 22 東洋町における体験観光の推進(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 東洋町 地元マリンスポーツ関係事業者 東洋町観光振興協会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>体験者数:5,000人<H27:0人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>体験者数:1,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 土佐の観光創生塾への参加:3回(4人) 高知家杯東洋町SUP選手権大会の開催(参加選手40名) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域資源を生かした体験プログラムの周知及びサーフィン客等の受入施設の整備 ⇒平成27年度に作成した東洋町観光アプリ(TOYOナビ)を活用するとともに、サーフィン客へのアンケート調査を実施し、必要な施設整備を検討
<p>■No. 23 藤村製絲を活用した観光振興(奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 藤村製絲(株) 奈半利町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>来館者数(1~12月):1,500人<H26:0人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>来館者数(1~12月):800人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> なはり浦の会総会(5月)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・なはり観光文化協会 	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤村製絲記念館の活用拡大 ⇒奈半利町制 100 周年記念イベントの一環として、奈半利駅構内への案内看板の設置や、関連イベント実施に向けた検討会を開催
<p>■No. 24 北川村観光 3 施設の誘客強化による交流人口の拡大 (北川村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北川村 ・榊きたがわジャルダン ・北川村観光協会 ・中岡慎太郎先生顕彰会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>各施設入園 (館) 者合計数 : 100,000 人 <H26 : 80,983 人></p> <p>(モネの庭 : 65,000 人) <H26 : 53,174 人> (北川村温泉 : 28,000 人) <H26 : 21,682 人> (中岡慎太郎館 : 7,000 人) <H26 : 6,127 人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>各施設入園 (館) 者合計数 : 69,000 人 (モネの庭 : 62,000 人) (北川村温泉は閉館中) (中岡慎太郎館 : 7,000 人)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中岡慎太郎先生顕彰会が NPO 法人化 (6 月) ・モネの庭職員の接客マナー研修の開催 (4 回) ・モネの庭のレストラン部分のリニューアルのための産振アドバイザーの活用 (1 回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5 月に発生した火災により休業しているモネの庭のレストラン部分の年度内リニューアル及び現在閉館中の北川村温泉のリニューアル工事の平成 29 年度末までの完成 ⇒財源を含めたリニューアルの方向性を検討中 ・北川村内の周遊の仕組みづくり ⇒中岡慎太郎館を中心とした 3 施設の連携による観光クラスターの整備
<p>■No. 27 奈半利ブランドの確立と販路の拡大 (奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・集落活動センター運営主体 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>—</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県集落活動センター連絡協議会への参画 (6 月) ・平成 28 年度第 1 回社員総会及び理事会の開催 ・平成 28 年度第 1 回なはりの郷活性化協議会の開催 ・関係機関等との協議 (15 回) ・関連クラスターの協議 (4 回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・農業複合経営拠点運営委員会の設置及びセミナーへの参加(5回) ・「弘瀬家住宅」に事務所機能を設けて本格的な活動を開始(7/1～) ・奈半利駅物産館及び奈半利町海浜センターの管理運営(7/1～) ・集落活動センター活用事業の実施(なはりの町屋切り絵展(7/25～8/30)) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センターなはりの郷の円滑な事業の遂行 ⇒同センターが実施するふるさと納税返礼品に係る事業、直販所運営事業、移住促進事業などについて、県関係機関と町が連携し、情報提供などにより、各事業の円滑な推進を支援
<p>■No. 28 安田中山地区の活性化プロジェクト (安田町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安田町 ・中山を元気にする会 ・安田川漁協 ・自然薯生産組合 ・味工房じねん ・中山合同女性部 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>交流人口 : 3,600 人<H26 : 3,329 人> じねんレジ通過者 : 28,000 人<H26 : 25,711 人> 集落活動センター利用者数 : 3,200 人 <H26.12月～H27.3月 : 689 人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>交流人口 : 3,400 人 じねんレジ通過者 : 26,400 人 集落活動センター利用者数 : 2,400 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知大学との連携(えんむすび隊:自然薯栽培支援及び地域住民とのワークショップ実施、医学部看護学科:地域生活者支援実習) ・集落活動センター推進事業費(経済活動拡充支援事業)補助金を活用した自然薯栽培用資材の導入 ・安田町ふるさと応援隊の追加募集(8/1～募集開始) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動を軌道に乗せていくための仕組みづくり ⇒さらなる栽培面積の拡大と販路の確保等への取り組み ・旧中山小中学校の活用策の検討 ⇒役場内での素案づくりと住民・関係機関を含めた検討委員会での活用案の策定 ・開幕予定の志国高知幕末維新博との連携 ⇒町内の周遊ルートづくりや特産品販売等の計画づくりに参画

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> 集落活動センターの円滑な運営の継続 ⇒応援隊の追加導入
<p>■No. 31 集落活動センター「げいせい」を拠点とした“小さくてももっと元気で輝くむら”づくり(芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 芸西村 集落活動センター運営主体 	<p>[目標(H31)]</p> <p>—</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係者協議(推進協議会1回開催) 高知県集落活動センター連絡協議会への参画 地域住民との勉強会の開催(2回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民の幅広い参画、プレイヤーの確保 ⇒集落活動センターを中心とした掘り起こしの実施 (先進事例の勉強会と住民ワークショップの開催)

2 平成28年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
該当なし		

3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目 該当なし

4 県民参画に向けた取組

- 産業振興計画シンポジウムの開催(田野町、5/18)
- 安芸市木曜会6月定例会での第3期計画の説明(5/26)
- 四国銀行との勉強会における第3期産業振興計画及び地域アクションプランの説明(8/18)
- その他、管内事業者等への研修会(HACCP研修、土佐MBA、土佐FBC等)や商談会などの開催の周知

5 相談案件:6件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/1	鮮魚卸	魚の加工をしたいが、どうしたらよいか。
2	4月下旬	雑貨	参加できる見本市等はないか。
3	4月下旬	食品加工	社員研修に係る費用に対する補助制度がないか。
4	5/30	食品加工	商品を保管する冷蔵庫等を導入したい。
5	6/6	食品加工	見本市出展費用に対する補助事業がないか。
6	7/13	食品加工	精肉用真空包装機械を導入したい。

物部川地域アクションプランの進捗状況等

H 2 8 . 9 . 1 2
物部川地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

物部川地域では、27件のアクションプランを推進しており、アドバイザーの導入や産振補助金導入に向けた検討、各種研修会への参加など、事業主体の実情に沿った支援を行っている。

農業分野では、日本一の生産量を誇るニラ、シシトウ、ユズ（青果）等の生産拡大に取り組んでいる他、今年度新たにアクションプランに位置付けたヤギミルクの増産の取り組みでは、産振補助金を活用した畜舎の増築に向けた事業計画づくりを進めている。

林業分野では、従来からの森の工場による施業地の集約化や高性能機械の導入により、原木の増産が順調に進んでいる。

水産業分野では、シイラ加工品の増産に向けた、ヘッドカッターの導入や加工職員の雇用により、生産体制が強化された。

商工業分野では、南国市において、海洋堂と連携した地域振興を進めており、本年7月11日に海洋堂の進出等に係る協定を締結したところである。また、海洋堂の誘致を商店街の活性化につなげるため、南国市商工会が中心となり、商店街や学校等を巻き込んだジオラマづくりや展示会等の開催を企画している。香美市では、チャレンジショップのチャレンジャーの確保に向けて広報を強化するとともに、チャレンジショップ卒業生や移住希望者の創業を見据えて、空き店舗所有者の意向調査に取り組んでいる。

また、ヤ・シィパークでは、産振補助金を導入し施設整備を行った氷菓や焼き菓子を販売する新規店舗が、7月23日にプレオープンした。

観光分野では、従来の高知市を含む4市の広域観光の取り組みに加え、物部川流域3市の観光関係者等で組織する「物部川DMO協議会」が設立され、パイロットイベントの開催など、交流人口の拡大に向けた取り組みを進めることとしている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>No.1 ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」(香南市、香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・ J A 土佐香美</p>	<p>[目標 (H31 園芸年度)]</p> <p>ニラ販売額：29.7 億円<H27 園芸年度：27.1 億円></p> <p>[H28 園芸年度到達目標]</p> <p>ニラ販売額：27.8 億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ニラ販売額 (H27.8~H28.6月)：21.7 億円 (前年同期比 98.1%) ・ 産地パワーアップ事業の農家説明会 (3 回) を開催し、省力化に向けた調整作業機械導入計画 (15 台) を申請 ・ 調整作業機械導入農家 (5 件) から活用状況を聞き取りし、導入効果や課題を情報収集

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・規模拡大志向農家への補助事業説明会を開催(5/25 22名)し、産地パワーアップ事業でハウス整備計画(56a)を申請 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の高齢化 ⇒指導農業士の選定等新規就農者の受入体制の強化 ・調整作業労力の確保と労働力の軽減 ⇒国庫事業を活用した調整作業機械の導入
<p>■No.2 南国市の園芸基幹品目シシトウの振興(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA南国市 ・JA長岡 ・JA十市 	<p>[目標(H31園芸年度)]</p> <p>JAシシトウ出荷量:760t <H27園芸年度:679t></p> <p>[H28園芸年度到達目標]</p> <p>JAシシトウ出荷量:700t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3JA合同会議の開催(2回) ・産地ビジョン作成の合意 ・炭酸ガス施用実証ほの承諾(1ヶ所) ・3JA合同の出荷場巡回検査(1回) ・新規栽培者の栽培管理及び経営改善に向けた巡回調査(4回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷量の増加及び販売額の維持 ⇒環境制御技術の導入促進及び担い手の育成 ⇒3JA生産者大会開催に向けての支援
<p>■No.3 還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル ・(株)トリムエレクトリックマシナリー ・高知大学 	<p>[目標(H31)]</p> <p>協力農家の戸数:7戸(H28~31累計) <H27:3戸></p> <p>「還元野菜」の売上:10,000千円 <H27:1,200千円></p> <p>機能性に基づく差別化ができた品目数:3品目 (H28~31累計) <H27:0品目></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>協力農家の戸数:0戸</p> <p>「還元野菜」の売上:2,500千円</p> <p>機能性に基づく差別化ができた品目数:1品目</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・還元野菜プロジェクト会議の開催(6/23): クラスター計画における地域AP取り組み内容の確認 ・葉物野菜の栽培計画作成 ・還元野菜プロジェクト会議の開催(7/11): 新たな還元野菜生産者の掘り起こしの必要性を確認 ・還元野菜生産者会議(7/27)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 還元野菜販売先の拡大 ⇒直販所でのコーナー設置に向けた協議
<p>■No.5 生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策(香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市 ・JA土佐香美 	<p>[目標(H31)]</p> <p>ユズ販売額:5.2億円<H27園芸年度:5.2億円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>ユズ販売額:5.2億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地協議会の開催(4/8、5/10、6/10、7/12、8/8、25 6回) ・先進事例調査の実施(7/11) ・総会の開催(8/18) ・農地集約に向けたアンケート調査の実施(1地区 実施中) ・担い手への園地流動化に向けたアンケート調査の実施(部会員 実施中) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手の確保 ⇒受入体制強化に向けた指導農業士の増員(2名)
<p>■No.6 「なの市」「なのカフェ」の売上拡大による農家所得の向上(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA長岡 ・(株)なの工房 	<p>[目標(H31)]</p> <p>直販所等の売上高:171,000千円<H26:171,000千円> 直販所等の雇用者数:32人<H26:32人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>直販所等の売上高:160,000千円 直販所等の雇用者数:31人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販所等の売上高(4~7月):51,824千円 (前年同期比 85.5%) ・3周年記念イベント開催 ・サーモンパーク千歳への出品 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カフェ部門の強化 ⇒ランチメニューの充実
<p>■No.8 地元野菜の消費拡大による地域農業の活性化(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル ・農家レストランまほろば畑 ・南国市 	<p>[目標(H31)]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給金額(割合): 6,455千円(25%)<H26:5,373千円(20.81%)> 業務筋への供給:25事業体<H26:20事業体></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給金額(割合): 6,455千円(25%) 業務筋への供給:25事業体</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・道の駅南国風良里</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の配送体制の強化(2人→3人) ・農家レストラン開店日 10日(4/1～7/19) : 来店者数 1,872人(10日分集計) ・高校生レストランの開催(8/9) : 来店者数 190人 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家レストランの新規グループ(たちばな)の自立的運営への移行 ⇒課題の洗い出し及び運営メンバーの拡充
<p>■No.9 農園レストランによる地域食材の消費拡大(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ナイフアンドフォークカンパニー 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:200,500千円<H26:0円> 食材の地産地消率:83%<H27:83%></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高:175,000千円 食材の地産地消率:83%</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高:174,303千円(H27.10～H28.6月) ・県内産食材の地産地消率:83.03% ・地元食材(ヤギミルク、シャモ肉等)を活用したメニューの提供 ・庭園の整備(子ヤギのレンタル(週末)、のぼり旗、櫓の整備等) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上高の維持 ⇒新たな企画等の実施(日替わりランチのバリエーション増や夏休みお子様フェアの開催等)
<p>■No.10 加工品販売による夜須地域の活性化(香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協同組合やすらぎ市 	<p>[目標(H31)]</p> <p>加工品販売額:1億円<H26:0.96億円></p> <p>[28到達目標]</p> <p>加工品販売額:0.96億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品販売額(4～7月):3,336万円(前年同期比100%) ・新商品の開発、販売(こじゃんとしょうがパン、プルアパートブレッド) ・6次産業化アドバイザーとの店舗コンセプトの再確認に向けた意見交換 ・加工品製造計画及び月次実績の検討 ・再ブランド化に向けたアドバイザーを交えた店舗コンセプトの検討 ・SNSによる顧客への情報発信(22回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存商品のブラッシュアップ、新商品の開発、再ブランド化に向けたコンセプトの再構築 ⇒6次産業化アドバイザーの活用、アドバイスの実践
<p>■No. 11 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業組合ごめんシャモ研究会 南国市商工会 南国市 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高: 65,000千円<H26: 21,553千円></p> <p>ごめんケンカシャモ提供店舗数: 20店舗(累計)</p> <p><H26: 19店舗></p> <p>シャモ目標飼育羽数: 3,000羽<H26: 1,859羽></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高: 50,000千円</p> <p>ごめんケンカシャモ提供店舗数: 20店舗(累計)</p> <p>シャモ目標飼育羽数: 3,000羽</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> シャモスキヤキセット販売数(4~7月): 86セット シャモ鍋セット販売数(4~7月): 156セット 各種イベント出展(3回) 総会(1回)、定例会(7回)の開催 食鳥処理施設整備に向けて、ものづくり出前相談会に参加(7/7) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> シャモ肉の安定供給量の確保 ⇒H27に直営鶏舎の改修を実施、飼育マニュアルに基づく生産管理の徹底
<p>■No. 12 ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 川添ヤギ牧場 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高: 22,500千円<H26: 1,800千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高: 5,400千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ビジネスプラン作成に向けた産振アドバイザーの導入(4回 全5回予定) ひまわり乳業がヤギミルクの販売開始(5/16~ いかりスーパー(関西)、サニーマート(県内)) パート雇用3名(6月~) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ヤギミルク生産量の増加 ⇒産振補助金活用による畜舎整備

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 民有林における原木の増産（物部川地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各森林組合 ・林業事業体等 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>原木生産量（民有林のみ）：50,000 m³<H26：35,887 m³></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>原木生産量（民有林のみ）：47,000 m³</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木生産量（4～6月）：13,874 m³（前年同期比 151%） ・市町村、森林組合、事業体への補助事業等の説明会の開催（5/11） ・境界明確化事業の説明会を開催し（5/14）、9名から施業実施の同意 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木の安定供給 ⇒安定的な事業地の確保と担い手の育成
<p>■No. 14 シイラ等の加工商材活用（香南市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県漁協手結支所 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>シイラ加工事業の販売額：20,000 千円 <H26：16,011 千円></p> <p>新たな魚種の取扱い尾数（新規）：3,000 尾</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>シイラ加工事業の販売額：22,000 千円 新たな魚種の取扱い尾数（新規）：300 尾</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シイラ加工事業販売額（4～7月）：17,043 千円 （前年同期比 217%） ・ヘッドカッターの導入（6/27 県補助事業活用） ・臨時職員の雇用（6月～） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制の強化 ⇒取扱量の増加に向けたヘッドカッターの活用及び臨時職員の雇用による加工部門の強化 ・衛生管理の向上 ⇒「高知県食品衛生高度管理手法」に基づく自主管理マニュアルの順守
<p>■No. 15 地域の特産品づくり ～農産物加工への取組～（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんこく空の駅推進協議会・西島園芸団地など既存企業・組織・グループ、新しい組織・ 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>地域資源を活用した新たな特産品数：10 品目（H28～31 累計）<H26：0 品目></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>地域資源を活用した新たな特産品数：3 品目</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ JA 南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル ・ 南国市商工会 ・ 南国市観光協会 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6次産業化等推進事業費補助金(市単)の「南国FOOD PLUS」(H28.4月設立)への交付決定:6次産業化推進に向けた相談窓口、受託のワンストップ化 ・ 特産品開発事業費補助金(市単)採択2件:ヤギミルクを使ったアイスクリーム開発、稲生産ワインの販路拡大 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プレーヤーの発掘・育成 ⇒特産品開発事業費補助金による商品開発等への支援を継続
<p>■No.16 海洋堂ファクトリーと連携・連動した「ごめん」の賑わいづくり(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 南国市商工会 ・ 南国市 ・ 南国市中心市街地活性化推進協議会 ・ (株)海洋堂 	<p>[目標(H31)]</p> <p>空き店舗活用数:7件(累計)<H26:1件(累計)></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>空き店舗活用数:4件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)海洋堂と南国市が連携協定を締結(7/11) ・ 南国市中心市街地活性化推進協議会を開催し(6/13)、今年度の活動内容を承認(フィギュア・ジオラマ教室の開催、大型造形物の制作、作品の展示会の開催、ハガキでごめんなさい全国コンクールの拡充(新たに「メールでもごめんなさい」を募集)等) ・ ジオラマ制作に向けた協議(6/2 海洋堂、奇想天外、商工会、6/7 後免野田小学校、高知東工業) ・ 南国市によるワンダーフェスティバル視察(7/24) ・ ごめんの軽トラ市(第21回)の開催(5/15 1,800人) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海洋堂のファクトリー誘致に向けたスケジュール、役割分担の確認 ⇒海洋堂を訪問し、市の想定スケジュール等を提案
<p>■No.17 地域産品を活用したヤ・シィパークを核とする地域の活性化(香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (株)ヤ・シィ ・ 香南市 	<p>[目標(H31)]</p> <p>加工所兼店舗の売上高:54,193千円<H27:0円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>加工所兼店舗の売上高:47,934千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 産振補助金を活用した加工所兼店舗の整備(5月) ・ 店舗スタッフの雇用3名(店長兼工場長1名、フロアマネージャー1名、パート1名) ・ 各種研修会への参加

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>店長：H A C C P 研修他 フロアマネージャー：土佐F B C 他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フルーツアイスバー&スイーツカフェ「mana mana (マナマナ)」オープン (7/23) ・土佐カントリークラブ (香南市)、デュロックファーム (四万十町) でアイスバー3 種限定販売 ・大阪市のレストランでアイスバー8 種限定販売 ・ランチメニューの提供 (9/1～) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗運営体制の確立 (マンパワーの確保) ⇒ハローワークを通じた募集 (継続)
<p>■No. 20 香美市における特産品づくりの推進 (香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)香美市観光協会 ・(協)葦生の里 ・奥ものべじじばあんぜん会 ・コハマ農産物直販所 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>開発商品売上高：10,000 千円 (17 商品) <H26：8,717 千円 (14 商品) ></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>開発商品売上高：8,800 千円 (15 商品)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6 次産業化セミナーに「(協)葦生の里 (にろうまいこ)」が参加 ・6 次産業化アドバイザーの導入 (コハマ農産物直販所：新商品のパッケージデザイン等) ・香美市特産品振興事業費補助金 (市単) の採択：1 件 ・「べふ峡温泉スプリングフェスタ (4/29)」でのシカ肉商品の販売・P R 等各種イベントへの出展 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発、既存商品のブラッシュアップ ⇒6 次産業化等の支援策の活用
<p>■No. 22 土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化 (香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市商工会 ・えびす街協同組合 ・地域活動団体 ・香美市 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>空き店舗を活用した新規開業：16 件 (H28～31 累計) <H27：3 件></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>空き店舗を活用した新規開業：4 件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジショップの運営 (1 店舗営業) ・チャレンジショップ先進地視察 (6/17) ・チャレンジショップ運営委員会開催 (6/23、7/21) ・えびす商店街活性化検討委員会開催 (6/23) <p>(週一定例会 (わりことし達の街おこし隊) を開催し、賑わいづくりに向けたアイデア出し、企画づくり (6 月～))</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジャーの獲得 ⇒募集チラシの配布などPR強化 ・チャレンジショップ卒業生や移住希望者の受け皿づくり ⇒NPO法人「いなかみ」との移住希望者に関する情報共有及び集落支援員が主体となった空き店舗所有者の意向調査→空き店舗バンク(貸し付け条件、賃料等)の作成、情報発信
<p>■No. 23 広域観光の取組の推進(物部川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知中央広域観光協議会のうち、南国市、香南市、香美市、(一社)南国市観光協会、(一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>観光客入込数:140.5万人<H26:132.1万人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>観光客入込数:135.7万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知中央広域観光協議会総会開催(5/16) →事業計画、予算案の承認(サービスエリア・道の駅へのパンフレットの配布、圏域下見研修の実施、観光・物産展への参加等) ・物部川DMO協議会設立総会(6/30) ※以降、毎月、月例会を開催 ・物部川流域フェスティバル部会の開催(8/9) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DMO協議会による具体的な取り組みの実践 ⇒協議会の運営を担うDMCを設立し、パイロットプロジェクトの検討、実施
<p>■No. 24 南国市の地域資源を活用した参加型観光の推進(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)南国市観光協会 ・市内各観光に関わる企業・団体・グループ 	<p>[目標(H31)]</p> <p>主要4観光施設の観光客入込数:555,000人 <H26:539,000人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>主要4観光施設の観光客入込数:555,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要4観光施設の入込数(1~5月):257,698人 (前年同期比 98.3%) ・各種イベントの開催 岡豊山さくらまつり・土佐の食1グランプリ(4/2~4/3):8,000人 ごめんな祭(5/8):2,700人 長宗我部フェス(5/14):2,800人 土佐のまほろば祭り(8/2):9,000人 ・ごめん・ありがとうプロモーションにより作成したPR動画公開(4/14~)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ AR アプリ開発に向けた市内モデルコースの視察 (5/31) ・ 南国市クラスター協議会設立に向けた協議 (6/24) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体験型メニューの充実 ⇒クラスター協議会での周遊コースの造成
<p>■No. 25 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信 (香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (一社) 香南市観光協会 ・ 香南市 ・ 香南市歌舞伎でまちおこし実行委員会 ・ 地域の体験メニュー等提供団体 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>観光客入込数：55 万人<H26：51.8 万人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>観光客入込数：70 万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モニターツアーの開催：4 回、参加者のべ 31 人 ・ 歌舞伎によるワークショップ等の開催：22 回、参加者のべ 535 人 ・ 香南市観光施設連絡会 (クラスター協議会の位置づけ) を開催し (5/20、6/16、8/5)、歴史のリアル化、クラスター化について協議 <p>[課題と今後の対応]</p> <p>観光協会の体制強化 ⇒事務局長の雇用及び旅行業務取扱管理者の確保</p>
<p>■No. 26 三宝山プロジェクト (香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 香南市 ・ 民間事業者 (予定) 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>観光客入込数：20 万人<H27：0 人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シャトー三島の耐震診断の発注 (工期 6/10～12/12) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>基本計画の策定 ⇒27 年度の「基本構想磨き上げ検討委員会」でとりまとめたエリア活用の方向性をもとに、民間事業者が参画する検討委員会を立ち上げ、協議</p>
<p>■No. 27 香美市における滞在型・体験型観光の推進 (香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 香美市 ・ (一社) 香美市観光協会 ・ 地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>主要 3 観光施設の入込数：300,000 人<H26：264,593 人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>主要 3 観光施設の入込数：282,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光協会事務局を移転し、「香美市インフォメーション」に窓口業務専門員を 2 名雇用 ・ 「シカニクの日べふ峡温泉スプリングフェスタ」の開催 (4/29)：参加者 873 人

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・「塩の道 Jazz Live うおーく」の開催(4/23)：参加者67人 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光協会の体制強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒インフォメーション機能の強化 ⇒旅行業3種登録による旅行商品の造成

2 平成28年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
該当なし		

3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目

該当なし

4 県民参画に向けた取組

- ・企業訪問における地域アクションプランの制度説明(5/30)
- ・行政事務地域連絡会議における地域アクションプランの概要説明(6/3)
- ・四国銀行との連絡会における第3期産業振興計画及び地域アクションプランの説明(7/15)

5 相談案件：4件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/19	食品加工	ワイン醸造所整備に向けた候補地の選定
2	5/2	農業	直販所の拡充
3	5/19	観光	物部川流域でのサイクリングメニューづくり
4	6/28	食品加工	グァバを原材料とする加工品づくり

高知市地域アクションプランの進捗状況等

H28.9.12
高知市地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

第3期のアクションプラン全30項目については、概ね安定的に推移している。

県産竹材を用いた新規分野への製品展開では、土佐山地区に、竹材の集荷や加工、竹チップ等の販売など竹産業を集積して拠点化し、県内各地に竹資源を活用した事業を拡大していくクラスターの形成に向け、(同)高知竹材センターを設立し、6月から稼働を開始した。

農業分野では、土佐山地区のユズの搾汁残渣の有効活用や、スイーツの商品開発に向けた機械化を図っており、本格稼働に向けた販路の開拓に取り組んでいる。

観光・商工業分野では、大型クルーズ客船の寄港に伴い外国人等観光客の増加が見込まれることや、歴史博物館のオープンが予定されていることなどにより、にぎわいのある中心市街地再生の機運が高まっていることから、県民性を活かしたおもてなしの充実を図っている。

また、日曜市では新規出店基準の緩和により、農家以外にも出店の機会を拡げ、次世代の担い手を確保する取り組みを進めている。

さらに、(株)城西館が実施している体験型旅行商品（とさ恋ツアー）の一層の拡がりに向けて、県内各地域の観光資源の情報提供を行っている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 キュウリの生産販売対策の強化による産地振興（高知市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 高知春野 ・ J A 高知春野キュウリ部会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>出荷量：12,700t<H27：10,174t></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>出荷量：10,330t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産性向上に向けた環境制御技術等に係る勉強会の実施 ・ J A 高知春野のキュウリ選果機の整備 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高品質・高収量のための技術改良 ⇒環境制御技術や天敵利用技術の普及促進 ・ 産地の維持拡大のための担い手確保 ⇒担い手研修生の就農に向けた受入協議
<p>■No.8 ユズを核とした中山間農業の活性化（高知市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 高知市 ・ J A 高知市土佐山柚子生産組合 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額：1.9億円<H26：0.8億円></p> <p>未活用（廃棄）果皮：0t<H24-26 平均：111t></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額：1.5億円</p> <p>未活用（廃棄）果皮：-</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・土佐山ファクトリー協同組合</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ振興計画の見直し及び苗木の定植指導等の実施 ・土佐山ファクトリー(協)と兼松エンジニアリング(株)による搾汁残渣を活用した精油等抽出機器の導入に係る工事請負契約の締結(産業振興総合補助金を活用) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路の拡大 ⇒関西圏を中心とした営業活動の強化 ・ユズの生産量の維持及び拡大 ⇒定植指導及び技術指導の継続実施
<p>■No. 10 「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一財)夢産地とさやま開発公社 等 	<p>[目標(H31)]</p> <p>販売額:2.02億円<H26:1.03億円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>販売額:1.05億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スイーツ加工施設の実施設計開始(産業振興総合補助金を活用) ・ユズを活用した新たな飲料の開発 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジンジャーエール類及びスイーツの販路確保及び拡大 ⇒日曜市等の対面販売の強化に加え、セット商品の卸販売やネット販売、ふるさと納税返礼品での展開 ・カフェ業態(スイーツ事業)の出店先の確保 ⇒オーベルジュ土佐山及び他の候補先との協議及び調整
<p>■No. 11 直販店を核とした鏡地域の活性化(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鏡村直販店組合 	<p>[目標(H31)]</p> <p>販売額:1.7億円<H27:1.62億円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>販売額:1.64億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏期栽培推進品目の栽培試験、現地巡回指導 ・インターネット販売に向けた協議 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品ラインナップの充実 ⇒これまでの取り組みの継続及び他産地からの仕入協議

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 16 森の工場の拡大による原木の増産</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市森林組合 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>森の工場面積：2,000ha (累計) <H26：1,453ha> 素材生産量：4,200 m³<H26：2,660 m³></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>森の工場面積：1,900ha 素材生産量：3,200 m³</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村、森林組合、事業体を対象とした林業振興関係説明会の開催 ・土佐山桑尾地区を森の工場として認定申請準備中(予定面積約100ha) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験値の高い伐採作業員の減少による生産性の低下 ⇒伐採事業地を増加させることで、伐採経験機会をさらに拡大し、作業員の技術力を向上
<p>■No. 18 春野地区の農産物(トマト等)の付加価値向上(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)スタジオ・オカムラ ・連携農家 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額：120,000千円<H26：45,110千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額：60,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏の百貨店・高質系スーパーへの外商の推進 ・連携農家における出荷体制の確立、生産力の向上 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原料調達の安定化 ⇒連携農家における集出荷施設の整備を検討
<p>■No. 19 県産竹材を用いた新規分野への製品展開(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)コスモ工房 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：100,000千円<H27：90,000千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高：95,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹の供給体制の構築 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な集材の仕組みづくり ⇒6月から稼働した(同)高知竹材センターの取り組みに対する支援

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市、出店者4組合ほか関係団体等 	<p>[目標(H31)]</p> <p>新規出店数:20件/年<H26:14件></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>新規出店数:20件</p> <p>※新規出店数とは、平成27年度に策定した規制緩和後の基準による出店数</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場内の回遊性を高めるための取り組み(駐車場・トイレ等の案内看板の作成・掲示(4月)) ・新規出店者の拡大を図るため、「さんしんGO!」等による広報活動を実施 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規出店者のさらなる拡大 ⇒様々な機会を活用した一層のPR展開 ・出店者の接客対応等の向上 ⇒出店者向け講習会等の実施
<p>■No. 24 近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)城西館等 ・高知市 	<p>[目標(H31)]</p> <p>高知市内の宿泊施設の延べ宿泊者数:127.3万人 <H26:約93.4万人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>高知市内の宿泊施設の延べ宿泊者数:106.8万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)城西館による土佐山、仁淀川地域等での着地型旅行商品の企画 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着地型旅行商品の開発による観光資源の磨き上げ ⇒集落活動センター等を通じた旅行商品の開発
<p>■No. 27 浦戸湾を活用した観光の振興(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐レジン 	<p>[目標(H31)]</p> <p>観光遊覧船の乗船客数:2,000人<H26:0人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>観光遊覧船の乗船客数:1,200人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光遊覧船2隻目・3隻目の購入及び稼働に向けた整備 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗船客のさらなる増加 ⇒3隻目(乗客数6人用)の稼働開始と、3隻体制における効率的なオペレーションの展開及びPRの強化

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 30 県民性を活かした外国人観光客受入態勢の充実(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・高知おせっかい協会</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>商品表記の多言語化店舗数:100店舗(累計) <H26:0店舗></p> <p>オセッカイストの認定者数:300人(累計)<H26:0人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>商品表記の多言語化店舗数:50店舗(累計) オセッカイストの認定者数:150人(累計)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型外国客船の乗船客への街中ガイド等の活動 ・中心市街地の店舗関係者を対象とした英語・中国語接客講座の開催(月1回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接客のバージョンアップ ⇒随時のミーティング等を通じた取り組みの成果や課題の確認による接客講座の企画の見直し ・オセッカイストの周知及び増加 ⇒様々な広報媒体の活用による取り組みのPR

2 平成28年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位:千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No. 8 ユズを核とした中山間地域の振興(高知市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス再資源化装置の導入によるユズ搾汁残渣の有効活用(精油等抽出機器の整備) 	104,981(50,000)
<p>■No. 10 「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興(高知市)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・有機無農薬野菜の加工品の販売等による土佐山産農産物のブランド化の推進(加工場の施設整備、直営販売拠点の整備) 	110,376(50,000)
<p>■竹資源活用による新産業創出事業(地域アクションプランに準ずる取り組み)</p> <p>※ステップアップ事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・竹集約システムの構築(竹の伐採・集材・加工等の仕組みづくりの構築、PR用ホームページ・チラシ作製、事業推進に向けたPR活動) 	2,720(1,360)

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[修正] ■「No. 19 県産竹材を用いた新規分野への製品展開（高知市）」の名称を変更し、事業主体に（同）高知竹材センターを追加する。併せて、目標を上方修正する。

（理由） ㈱コスモ工房土佐山工場の隣接地に新たに設立した（同）高知竹材センターが6月から稼働し、竹の集材や1次加工を始めたことに伴い、地域APの取り組みを拡充するため。

4 県民参画に向けた取組

- ・四国銀行本店営業部に対して産業振興の取り組みについて説明（4/12）
- ・高知市商店街振興組合連合会役員会にて、産業振興の取り組みについて説明（4/25）
- ・土佐山の日に、土佐山地区の住民及び関係団体に対して産業振興の取り組みについて説明（4/29）
- ・おせっかい協会定例会にて、会員に対して産業振興の取り組みについて説明（4/19、5/24、6/14）
- ・産業振興計画シンポジウムの開催（高知市、5/16）
- ・高知銀行幹部との協議にて、産業振興の取り組みについて説明（6/9）
- ・梅ノ木ファーム役員会にて、役員に対して産業振興の取り組みについて説明（7/12）
- ・その他、訪問、来社企業等に対して第3期計画の説明

5 相談案件：7件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/13	製造販売	おしぼりを製造する会社から、新商品の開発と雇用についての相談
2	4/13	医薬品	個人からアカメガシワの入手方法についての相談
3	4/18	食品加工	飲食店経営者より、メニューの商品化についての相談
4	5/25	医薬品	春野商工会より、フキの皮の抗菌作用の活用についての相談
5	6/16	食品	精進料理の普及についての相談
6	7/8	林業	竹を活用したバイオマス発電事業についての相談
7	8/5	水産業	高知県産鰹の加工販売事業についての相談

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
自動車ハンドル等の竹集成材の製造					→	売上額 (H23:31,000千円) (H26:110,000千円) (H27見込:90,000千円)	100,000千円
自動車ハンドル、竹ブランなどの竹集成材等の製造							
新規分野への製品展開					→		
新たな製品の開発・製造							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
自動車ハンドル等の竹集成材の製造					→	売上額 (H23:31,000千円) (H26:110,000千円) (H27:90,000千円)	100,000千円
自動車ハンドル、竹ブランなどの竹集成材等の製造							
新規分野への製品展開					→		
新たな製品の開発・製造							
集竹の仕組みの構築					→		
土佐山周辺における集竹の仕組みづくり							
県内全域からの集竹の仕組みづくり							

嶺北地域アクションプランの進捗状況等

H28.9.12
嶺北地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

嶺北地域アクションプランは、全23件中8件が新規案件としてスタートし、嶺北4町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略等の取り組みとベクトルを合わせながら推進している。

農業分野では、3町が中山間農業複合経営拠点事業に取り組む中、JA出資型法人（(株)れいほく未来）においては、都市圏からの研修生の受け入れが定着し、新規就農につながってきた。

畜産分野では、土佐あかうし、はちきん地鶏等が順調に増産されており、新たに、堆肥舎の整備や自給用飼料の栽培、食鳥処理場の建設に向けた検討を行うとともに、はちきん地鶏の首都圏での販売拡大に取り組んでいる。

林業分野では、嶺北地域を1つのフィールドとした林業クラスターの取り組みを進める中で、集落活動センターにおける担い手育成やコンテナ苗の栽培などに取り組んでいる。

特産品については、ぼうむ合同会社の新製品「土佐泡盛 REIHOKU」の販売や、木工製品の大手企業との業務提携など、新たな動きに期待が高まっている。

観光分野では、アウトドアの里づくりと山岳観光の拠点整備を中心に協議を行っている。

また、これら全ての取り組みを進展させるために、広域連携による交流人口の拡大や移住対策、若者の定着が必須であるため、学生・若者と地域を結ぶ「ONE れいほく」による仕組みづくりを進めるべく、クラウドファンディングも活用しつつ、地域と共に取り組んでいる。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No.2 JA出資型法人（(株)れいほく未来）を核とする地域活性化の取組（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)れいほく未来 ・JA土佐れいほく 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>研修による新規就農者数（雇用者数含む） ：12人（H28～31累計）＜H24～27累計：8人＞</p> <p>農業経営事業（園芸）売上高 ：50,000千円＜H26：23,670千円＞</p> <p>米粉等の販売額：1.1億円＜H26：1.04億円＞</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>研修による新規就農者数（雇用者数含む）：3人 農業経営事業（園芸）売上高：38,500千円 米粉等の販売額：1.1億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターシップ事業実施：2回（9月末見込み） ・栽培講習会への参加：4回 ・生育状況確認及び栽培管理指導：2回 ・八菜館における米粉パン販売の開始（7/15）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修生の募集、受入、育成 <ul style="list-style-type: none"> ⇒農業に意欲のある研修生の確保・指導・育成及び独立就農や雇用就農につなげるための就農支援 ・栽培技術の習得 <ul style="list-style-type: none"> ⇒育苗及び野菜栽培管理技術の向上による生産性の向上(彩どりピーマン、米ナス等)及び冬作(スナップエンドウ)の定着に向けた検討
<p>■No.6 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興(本山町,土佐町,大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA土佐れいほく ・(株)れいほく未来 ・飼養者 ・本山町 ・土佐町 ・大豊町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>土佐あかうしの販売額:3.0億円<H26:1.5億円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>土佐あかうしの販売額:2.8億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・れいほく未来 飼養頭数:146頭 (繁殖雌牛91頭、肥育22頭、子牛33頭) ・土佐町肉用牛推進クラスター協議会設立(6/10) ・堆肥舎:畜産クラスター整備事業の農政局採択(8/2) 産業振興推進総合支援事業費補助金活用を予定 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼育担当者の飼養管理技術の向上 ・自給飼料の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒飼料用とうもろこし栽培の検討 ・れいほく未来の水不足 <ul style="list-style-type: none"> ⇒こうち農業確立支援事業活用(汲み上げポンプ整備)
<p>■No.7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産の活性化(大川村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)むらびと本舗 ・大川村 	<p>[目標(H31)]</p> <p>黒牛の販売額:54,900千円<H26:34,000千円> 出荷羽数:12.5万羽<H26:5.2万羽></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>黒牛の販売額:40,000千円 出荷羽数:8.0万羽</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒牛肥育牛舎完成(4/21) ・顧問契約した商社OBによる首都圏での営業活動 ・はちきん地鶏育雛鶏舎(朝谷1棟)完成(6/17) ・大川村PT産業振興部会の開催:3回(9月末見込み) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はちきん地鶏のブランド化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒首都圏における営業活動の強化

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・収益性確保に向けた増羽体制及び施設の整備 ⇒床暖房の効果による育成率、出荷平均体重の改善 肥育鶏舎(方田2棟)の整備(12月完成予定) 食鳥処理場整備の検討 産業振興推進総合支援事業費補助金活用を予定
<p>■No.8 嶺北地域における林業クラスター化の取組(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林所有者 ・自伐林家 ・森林組合 ・素材生産事業体 ・高知おおとよ製材(株) ・大豊町 ・本山町 ・土佐町 ・大川村 	<p>[目標(H31)]</p> <p>素材生産量: 130,000 m³ < H26: 98,515 m³ ></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>素材生産量: 110,000 m³</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材増産推進プロジェクトチーム会: 2回 ・森林組合支援ワーキング: 2回 ・森林組合支援チームをスタート ・素材生産事業体の増産に向けた聞き取り、協議(森林組合、事業体計12事業体) ・間伐関係補助事業の周知 ・ストックヤード造成工事(現在は進入道開設、その後に造成作業予定) ・原木(C材)の安定供給に向けた各種制度の普及啓発 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬出間伐の生産性向上 ・皆伐事業地の拡大に伴う再生林の推進 ・林業事業体の体質強化 ⇒「森の工場」新規計画策定の検討 木材増産に向けた計画的な生産(皆伐・搬出間伐) ・林業従事者及び担い手の育成確保 ・高知おおとよ製材(株)フル生産に向けた原木の安定供給 ⇒必要となる原木量の確保並びに供給体制の整備 コスト及び需要供給のバランスの調整等
<p>■No.11 嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組(土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いしはらの里協議会 ・土佐町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>林業研修者: 60人(H28~31累計) < H27: 0人 > 研修者の宿泊日数: 360泊(H28~31累計) < H27: 0泊 ></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>林業研修者: 5人 研修者の宿泊日数: 30泊</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・民間事業者（(株)FPI）等</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修プログラムの検討：2回 県立林業学校短期課程（小規模林業向けコース）の土佐町での開催が決定（H29.1～2月予定） ・事業推進体制の検討：1回 合同会社にて、事業推進担当役員を決定 ・研修フィールドの検討：1回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修生の確保 ・事業の実施に係る財源の確保 ⇒土佐町役場、FPI、県森づくり推進課等と連携し、試行的実施に向けた具体的な検討
<p>■No.12 嶺北地域の特産品販路拡大への支援（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)れいほく未来 ・NPO法人土佐さめうら観光協会 ・ポータルサイト利用事業者 ・土佐町 ・本山町 ・大豊町 ・大川村 	<p>[目標（H31）]</p> <p>県外飲食店等との直接取引による販売額 ：85,200千円<H27：0円></p> <p>ポータルサイト年間売上高：1,200千円<H26：564千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>県外飲食店等との直接取引による販売額：16,000千円 ポータルサイト年間売上高：700千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受発注管理システムを活用した地産外商の実施 ・商談会への参加：1回 面談件数：約30件（うち1件商談継続中） ・直接取引飲食店等：4件 ・直接取引関係生産者等：19件（うち新規4件） ・HPへのアクセス数：830件 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な集荷方法等、集荷システムの確立 ・計画的な農畜産物の生産体制構築 ⇒嶺北全体における集荷の仕組みづくりのため、各町村の生産事業体へ協力要請
<p>■No.13 クラウドファンディングを活用した地域活性化（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融機関、高知大学、町村等で構成する協議会 ・商工会 	<p>[目標（H31）]</p> <p>調達額：15,000千円（H28～31累計）<H27：0円></p> <p>嶺北地域のプロジェクト数：5件<H27：0件></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>調達額：5,000千円 嶺北地域のプロジェクト数：2件</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本山町 ・ 大豊町 ・ 土佐町 ・ 大川村 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FAAVO 高知開設 (4/6) ・ 嶺北地域のプロジェクトが資金募集を開始 (4/6) <ul style="list-style-type: none"> PT①達成 車イス対応テーブル 調達額：370 千円、支持者：37 人 PT②達成 防災リーダー育成 調達額：471 千円、支持者：50 人 PT③ 7/28 開始 デザイナーズワンカップ泡盛 ・ サブオーナー（嶺北地域）連携会議：3 回（9 月末見込み） ・ 産業振興アドバイザー制度の活用（利用者掘り起こしのためのアイデアソン）：1 回（7/5） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域課題の掘り起こし及び地域住民の参加促進・啓発 ⇒嶺北地域における勉強会及びアイデアソンの開催（全 3 回予定）
<p>■No. 14 ぼうむ合同会社による地域資源（木材・米）活用の取組（本山町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ぼうむ合同会社 ・ 本山町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>木工製品全般の売上高：89,000 千円<H26：33,000 千円> 焼酎の販売額：19,590 千円<H26：4,655 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>木工製品全般の売上高：74,000 千円 焼酎の販売額：7,750 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>[木工製品]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大手企業との業務提携によるレーザー加工品の製造販売 ・ 産業振興推進総合支援事業費補助金（採択 4/8）を活用した施設・設備の拡充（6 月） (総事業費：34,145 千円、補助金額：15,807 千円) ・ 正職員の新規雇用：2 名（7 月末） ・ 県外での販路拡大・販売促進活動 新規取引先：7 件（5 月末） 取引先累計：168 件（5 月末） <p>[米製品]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土佐泡盛 REIHOKU を新発売（6 月） ・ 新規取引先：2 店舗（5 月末） ・ 取引先累計：183 店舗（5 月末） ・ 販売本数：696 本（5 月末） ・ 販売額：786 千円（5 月末） ・ 商談会・フェアへの出展：1 回（5 月末） ・ イベントでの PR 販売：2 回（5 月末）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ひろめ市場での試飲販売(6月から毎月1回) ・県庁での土佐泡盛お披露目販売(7/12~13) ・新聞・雑誌への記事掲載:3回(7月末) ・テレビでの放映:3局で4回(8月末) ・クラウドファンディングFAAVO高知で土佐泡盛ワンカップ製造資金の調達を開始(7/28) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上の増加 ・認知度の向上 <p>⇒飲食店営業者や消費者を参集した高知市での「土佐泡盛を楽しむ会」等の企画</p>
<p>■No. 15 碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開(大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大豊町碁石茶協同組合 ・(株)大豊ゆとりファーム ・大豊町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>碁石茶関連商品の総販売額:0.6億円<H26:0.1億円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>碁石茶関連商品の総販売額:0.2億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販促活動:5回(延べ18日)(9月末見込み) ・碁石茶の製造体験プログラムによる生産補助者の受入(6/20~7/31:5人、7/1~8/25:5人) ・知的財産セミナー開催についての協議 ・機能性表示に関する高知大学との協議 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規生産者の育成・確保 ・原材料となる茶葉(茶園)の確保 ・販路の維持・拡大 <p>⇒機能性表示等の活用による付加価値の向上 高知大学と連携して臨床実験の実施</p>
<p>■No. 16 嶺北材を活かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化(土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さめうらこむ ・犬小屋製作工房K ・土佐地区商工会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>注文数:750件<H27:500件> [犬小屋製作工房K] 従業者数:6人<H27:4人> [さめうらこむ]</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>注文数:500件 [犬小屋製作工房K] 従業者数:4人 [さめうらこむ]</p> <p>[取組状況]</p> <p>[犬小屋製作工房K]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新工場予定地の農地転用手続き申請(4月) ・オンライン及び紙面での商品PR・販売 ・注文数:136件(6月末)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[さめうらこむ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規製造者の受入(4月) ・オンラインでの商品PR・販売 ・従業者数:5人(うち新規2人)(9月末見込み) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>[犬小屋製作工房K]</p> <p>効率的な製造ライン確保のための新工場の整備 ⇒新工場建設予定地の農地転用手続きの年内完了 産業振興推進総合支援事業費補助金申請(12月予定)</p> <p>[さめうらこむ]</p> <p>製品のクオリティ向上 ⇒木工による地域産業活性化のための人材育成</p>
<p>■No.18 嶺北広域観光アウトドアの里づくり(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 ・本山町白髪山・工石山保全活用推進協議会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>アウトドア拠点施設の利用者数:50,000人<H27:0人> 白髪山・工石山への観光客数 :200人(H28~31累計)<H24~26累計:58人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>アウトドア拠点施設の利用者数:— 白髪山・工石山への観光客数:10人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知・本山アウトドアの里づくり推進協議会:2回 (9月末見込み) ・アウトドアの里づくり推進協議会打合せ:2回 ・嶺北地域4町村観光担当課長会:2回 ・嶺北地域4町村観光担当課長会:1回 ・本山町白髪山・工石山保全活用協議会総会:1回 ・白髪山「八反奈呂 根下がりヒノキ群生地」の県天然記念物指定(5/17) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画(施設の配置計画、運用、収支計画、整備事業費、事業推進体制等)の検討 ⇒実施設計の策定 ⇒県の観光拠点等整備事業費補助金の申請 地方創生推進交付金申請に向けた広域連携の協議 ・天然記念物を中心にした散策ルートの設置及びガイド育成 ⇒モニターツアーの実施 ・工石山「紅れん石」の県天然記念物指定に向けた申請 ⇒年内~年度末の申請を予定

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 19 嶺北地域における山岳観光の拠点整備(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大川村 ・(一社)大川村ふるさとむら公社 ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>白滝の里施設利用者数:15,000人<H26:6,175人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>白滝の里施設利用者数:10,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホールアースとの協議(本社):1回 ・大川村PT観光・交流部会:5回(9月末見込み) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存プログラムの磨き上げによる山岳観光の推進 ⇒モニターツアーによる検証や新規のプログラム開発 ・観光産業人材の育成・確保 ⇒専門研修やOJT研修の実施
<p>■No. 21 嶺北地域の連携による移住促進の取組(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・れいほく田舎暮らしネットワーク ・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 	<p>[目標(H31)]</p> <p>移住者数 :280人(H28~31累計)<H24~26累計:214人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>移住者数:100人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住促進連絡会の開催:4回 ・県外での移住相談会への参加:2回(東京、大阪) ・移住相談受付件数:75件(6月末) ・空き家調査件数:30件(6月末) ・移住実績:21件30人(6月末) ・土佐泡盛「REIHOKU」の企画・販売促進 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住相談等増加への取り組み ⇒PR、情報発信の強化 ・受入体制の整備 ⇒空き家の確保、お試し住宅の整備等
<p>■No. 22 学生・若者と地域の連携による事業創出支援プラットフォーム「ONEれいほく」の構築(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人ONEれいほく ・高知大学 ・嶺北高校 ・本山町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>プロジェクト数:7件<H27:0件></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>プロジェクト数:4件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だいちハウス訪問者数:延べ125人 ・プロジェクトの受託:4件 大豊町碁石茶協同組合「特産物等販売戦略委託業務」(5月)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・大豊町 ・土佐町 ・大川村 	<p>本山町集落活動センター汗見川「清流館利用促進事業委託業務」(7月)</p> <p>土佐町「地域の未来を担う人材育成事業(マイプロジェクト)委託業務」(7月)</p> <p>大豊町「農業インターンシップ事業委託業務」(8月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人登記 (6/15) ・町村、団体との地域活性化等のプロジェクトに関する協議 ・教育委員会、学校への協力依頼 : 5回 ・活動のPR : 2回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO の運営体制の確立 ・プロジェクト受託にかかる適切な事務処理 ⇒地域づくりアドバイザーの活用
<p>■No. 23 大豊町西峯地区におけるビジネス創出による地域活性化の取組(大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西峯地区活性化推進委員会 ・大豊町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>生産本数: 2万本<H27: 1,920本></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>生産本数: 2万本</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播種: 550g ・育苗ハウスの整備: 1棟 ・コンテナへの移植: 20,000本(9月末見込み) ・栽培管理に関する勉強会: 2回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植作業の効率化 ・発芽不良及び移植後の苗の生育不良 <p>⇒勉強会等による栽培管理技術の習得</p>

2 平成28年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位: 千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>No. 14 ばうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取組(嶺北地域全域)</p>	<p>「もくレース」(木製雑貨)製造施設 拡張による増産体制の整備 (レーザー加工機及びPC等関連機器の増設並びに製造工場の拡張)</p>	<p>34,145千円 (15,807千円)</p>

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[修正] ■ 「No.6 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興（本山町、土佐町、大豊町）」の事業主体のうち、「飼養者」を「肉用牛生産組合」に改めるとともに、主要内容に「新たな堆肥化処理施設の整備及び県内産飼料自給率の向上」を追加する。

（理由）計画では、事業主体を個々の「飼養者」としていたが、全員が組合員であるため組織としての「肉用牛生産組合」に改める。また、増頭に伴い、土佐町堆肥センターの堆肥処理能力が限界に至ったため新堆肥舎を今年度整備（事業主体：JA土佐れいほく）することとなった。さらに、地方創生推進交付金の活用により、地域産（自給）飼料の生産（事業主体：土佐町）に取り組むこととなったため。

■ 「No.7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化（大川村）」の事業主体に「（一社）大川村ふるさとむら公社」を追加する。

（理由）H28～29年度に予定している「食鳥処理・加工施設の整備」の事業実施主体を（一社）大川村ふるさとむら公社とすることが決定したため。

4 県民参画に向けた取組

- ・土佐町地区長会での第3期計画の説明（4/20）
- ・土佐れいほく農協理事会での第3期計画の説明（4/27）
- ・本山町民生委員児童委員協議会総会・定例会での第3期計画の説明（5/18）
- ・本山町商工会総会での第3期計画の説明（5/20）
- ・大豊町商工会総会での第3期計画の説明（5/20）
- ・産業振興計画シンポジウム（5/23）への参加案内（㈱大豊ゆとりファーム、碁石茶協同組合、西峯集落活動センター、JA土佐れいほく、土佐町森林組合、土佐地区商工会、土佐さめうら観光協会、集落活動センターいしはらの里、れいほく田舎暮らしネットワーク など）
- ・土佐の観光創生塾の受講の働きかけ（土佐さめうら観光協会）
- ・FAAVO 高知関連「嶺北を面白くするアイデアソン（7/5）」への参加の働きかけ（本山町、土佐町、大川村内住民）

5 相談案件：6件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/18	商業	店舗及び土地の活用について
2	5/26	農業	6次産業化について
3	5/26	移住	旧施設の活用について
4	6/14	国際交流	チェンマイとの交流について
5	7/6	交流	コミュニティセンターの有効活用について
6	8/2	農業	産地づくり（野菜選別機の整備）について

第3期計画					H32以降	指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)		
農家の経営規模の拡充に向けた取組					→	土佐あかうしの販売額 (H19:2億円) (H22:1.9億円) (H26:1.5億円)	3.0億円	
レンタル畜産施設等整備事業の活用・繁殖雌牛増頭に係る支援の活用								
生産基地の整備と6次産業化に向けた取組					→			
食肉加工施設の整備方針の検討		食肉加工施設の整備		食肉の販路開拓				
繁殖雌牛の導入に対する支援の活用		肥育技術の向上による安定的な出荷体制の構築						
担い手の確保・育成(研修生の受け入れ)								



第3期計画					H32以降	指標及び目標		
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)		
農家の経営規模の拡充に向けた取組					→	土佐あかうしの販売額 (H19:2億円) (H22:1.9億円) (H26:1.5億円)	3.0億円	
レンタル畜産施設等整備事業の活用・繁殖雌牛増頭に係る支援の活用								
畜産基地の整備と6次産業化に向けた取組					→			
食肉加工施設の整備方針の検討		食肉加工施設の整備		食肉の販路開拓				
繁殖雌牛の導入に対する支援の活用		肥育技術の向上による安定的な出荷体制の構築						
担い手の確保・育成(研修生の受け入れ)								
新たな堆肥化処理施設の整備及び県内産飼料自給率の向上					→			
土佐町肉用牛推進協議会設立		地域産飼料の生産・販売						
堆肥舎の整備								

修正項目(案)



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化 《大川村》 修正前	大川村の基幹産業である畜産の振興により地域の活性化を図り、雇用の確保、所得の向上につなげる。	・(株)むらびと本舗 ・大川村	アクションプランの取組開始:H21 <大川黒牛> ・繁殖雌牛の保留・更新(H21~27) ◆大川村の支援等により、56頭(H26)まで繁殖雌牛が増頭できた。 ・国のクラスター事業及び県の産業振興推進事業費補助金を活用し、肥育牛舎の建替を行った。(H27) ◆肥育牛舎の建替により、年間70頭の出荷体制による繁殖肥育一貫経営が構築できるようになった。 <土佐はちきん地鶏> ・生産施設の整備(レンタル鶏舎)(H21~27) ◆産業振興推進事業費補助金を活用し、施設整備や施設の改築を行い、10万羽まで生産が可能になった。(H21~22) ・販売促進活動(H21~27) ・大川村プロジェクトを定期的に開催し、生産体制の改善と収益性確保について検討した(H26~27)	<大川黒牛> ・繁殖雌牛の高齢化 ・繁殖雌牛の増頭及び育成経費の確保 ・肥育牛の増産 <土佐はちきん地鶏> ・飼養管理技術の習得 ・出荷体制の改善 ・生産原価の上昇 ・収益性確保のための増羽体制及び施設整備	<大川黒牛> ◆繁殖雌牛の増頭、繁殖牛の1年1産体制の確立、70頭出荷体制の構築(繁殖肥育一貫経営) <土佐はちきん地鶏> ◆飼養管理技術の向上及び食鳥処理施設の整備・稼働並びに付加価値販売





【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化 《大川村》 修正後	大川村の基幹産業である畜産の振興により地域の活性化を図り、雇用の確保、所得の向上につなげる。	・(株)むらびと本舗 ・(一社)大川村ふるさとむら公社 ・大川村	アクションプランの取組開始:H21 <大川黒牛> ・繁殖雌牛の保留・更新(H21~27) ◆大川村の支援等により、56頭(H26)まで繁殖雌牛が増頭できた。 ・国のクラスター事業及び県の産業振興推進事業費補助金を活用し、肥育牛舎の建替を行った。(H27) ◆肥育牛舎の建替により、年間70頭の出荷体制による繁殖肥育一貫経営が構築できるようになった。 <土佐はちきん地鶏> ・生産施設の整備(レンタル鶏舎)(H21~27) ◆産業振興推進事業費補助金を活用し、施設整備や施設の改築を行い、10万羽まで生産が可能になった。(H21~22) ・販売促進活動(H21~27) ・大川村プロジェクトを定期的に開催し、生産体制の改善と収益性確保について検討した(H26~27)	<大川黒牛> ・繁殖雌牛の高齢化 ・繁殖雌牛の増頭及び育成経費の確保 ・肥育牛の増産 <土佐はちきん地鶏> ・飼養管理技術の習得 ・出荷体制の改善 ・生産原価の上昇 ・収益性確保のための増羽体制及び施設整備	<大川黒牛> ◆繁殖雌牛の増頭、繁殖牛の1年1産体制の確立、70頭出荷体制の構築(繁殖肥育一貫経営) <土佐はちきん地鶏> ◆飼養管理技術の向上及び食鳥処理施設の整備・稼働並びに付加価値販売

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
 <p><大川黒牛> 繁殖雌牛の増頭、繁殖牛の1年1産体制の確立、70頭出荷体制の構築(繁殖肥育一貫経営)</p>					黒牛の販売額 (H19:70,000千円) (H25:45,000千円) (H26:34,000千円)	54,900千円	
繁殖雌牛の増頭							
繁殖牛舎の改修							
 <p><土佐はちきん地鶏> 飼養管理技術の向上及び食鳥処理施設の整備・稼働並びに付加価値販売</p>					出荷羽数 (H19:1万羽) (H25:5.5万羽) (H26:5.2万羽)	12.5万羽	
関係者間(事業者、村、県)の協議							
飼養管理技術の向上(施設整備による孵化率・育成率の向上、研修会の実施等)							
食鳥処理・加工施設の整備							
はちきん地鶏の付加価値販売、加工品の開発・販路開拓							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
 <p><大川黒牛> 繁殖雌牛の増頭、繁殖牛の1年1産体制の確立、70頭出荷体制の構築(繁殖肥育一貫経営)</p>					黒牛の販売額 (H19:70,000千円) (H25:45,000千円) (H26:34,000千円)	54,900千円	
繁殖雌牛の増頭							
繁殖牛舎の改修							
 <p><土佐はちきん地鶏> 飼養管理技術の向上及び食鳥処理施設の整備・稼働並びに付加価値販売</p>					出荷羽数 (H19:1万羽) (H25:5.5万羽) (H26:5.2万羽)	12.5万羽	
関係者間(事業者、村、県)の協議							
飼養管理技術の向上(施設整備による孵化率・育成率の向上、研修会の実施等)							
食鳥処理・加工施設の整備							
はちきん地鶏の付加価値販売、加工品の開発・販路開拓							

仁淀川地域アクションプランの進捗状況等

H 2 8 . 9 . 1 2

仁淀川地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

全 36 のプランについて、実行支援チームを編成、事業推進に向けた協議と進捗管理を実施し、それぞれの地域アクションプランに掲げた本年度到達点の達成を目指して取り組みを進めている。

事業のさらなるステップアップや課題を抱えている案件について、人材育成の講座への誘導、アドバイザーの派遣、各種補助金の活用など、場面に応じた支援事業を導入し、関係機関と連携した具体のサポートを実施している。

特に、平成 26 年 11 月に産振総合補助金を活用してリニューアルオープンした日高村の直販所「村の駅ひだか」については、開店以降集客、売上ともに好調で、集荷体制の整備、商品の品揃えや加工品の開発など、売上目標の達成を目指した取り組みを進めている。

農業分野では、農事組合法人ヒューマンライフ土佐が、こうち農業確立総合支援事業費補助金を活用してショウガ・ダイダイの乾燥・調製等の施設整備を進めており、(株)フードプランにおいては生産能力の拡大を図るため、産振総合補助金を活用した新たな加工施設整備の検討を進めている。

林業分野では、本年 4 月、C L T 用ラミナ製造のための大型製材工場の完成により製品流通拡大に向けた体制が整い、機械調整を行いながら生産を上げている。

水産業分野では、企業組合宇佐もん工房の宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化事業において、今年度、産振総合補助金を活用して、加工施設の整備による衛生管理の高度化、生産性の向上に取り組み、さらなる販路拡大を進める。

また、平成 29 年 3 月から開催される「志国高知 幕末維新博」の取り組みを通じて、将来にわたり全国からの誘客を図りうる観光地づくりを目指し、地域会場となる紙の博物館及び青山文庫（歴史資源）の磨き上げと地域の「食」「自然」などを一体的に周遊できる観光クラスターの整備に向けて、地域が中心となり観光クラスター協議会の設置や整備計画の策定等に向けた協議を進めている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 2 薬用作物の産地拡大による所得の向上(仁淀川町、佐川町、越知町、日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・農事組合法人ヒューマンライフ土佐</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>薬用作物の作付面積(ヒューマンライフ土佐)</p> <p>ミシマサイコ : 70ha < H27:55ha ></p> <p>サンショウ : 80ha < H27:73ha ></p> <p>ダイダイ : 30ha < H27:28ha ></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>ミシマサイコ : 56ha</p> <p>サンショウ : 70ha</p> <p>ダイダイ : 30ha</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミシマサイコ慣行品種発芽状況の確認(3回) ・ミシマサイコ2年株専用品種調査圃場設置(6/16)、生育調査(9~11月(月1回)) ・ヒューマンライフ土佐総会(6/2) ・こうち農業確立総合支援事業費補助金を活用した施設整備(ショウガ・ダイダイの乾燥・調整設備等)(4/22交付決定)、ダイダイ(枳実)乾燥機の整備完了(7/13納入検査)、ショウガ選別貯蔵施設及び乾燥・調整設備は10月中完成を予定し7月上旬着工 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な施設整備 ⇒越知町役場との連携による支援
<p>■NO.7 生姜の増産と加工品の生産拡大(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・榎前川博之商店 	<p>[目標(H31)]</p> <p>生姜加工品の販売額:200,000千円<H26:40,946千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>生姜加工品の販売額:80,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産農家との打合せ会 ・生協関係者との現地検討会 ・商談会への参加 ・生姜加工の取り組みに関する協議:2回 ・生姜加工品の販売額(H27.10~H28.7月末):34,979千円 (前年同期比95.4%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工用原料の安定確保 ⇒生姜栽培面積の拡大に向けて生産者との勉強会等を実施 ⇒農業生産法人よさこいファーム(自社)と幡多地域の農業者との連携を検討
<p>■NO.8 いの町での生産等加工品製造施設の整備と販売促進(いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西村青果(株) 	<p>[目標(H31)]</p> <p>生姜等加工品の販売額:3.6億円<H26:3.4億円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>生姜等加工品の販売額:3.45億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内取引農家との打合せ:55回 ・大手食品会社とのにんにく・生姜にかかる取引協議:1回 ・生姜等加工品の販売額(H27.10~H28.7月):約4.32億円 (前年同期比約169%)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・いの町内生姜生産農家からの加工品用生姜仕入高 (H27. 10～H28. 7月) : 約 85. 2 t ・いの町内生姜生産農家栽培面積 : 8. 5ha <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制の維持及び販売強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒大手食品会社等の取引先との連携強化 ・原材料となる生姜の安定的な調達 <ul style="list-style-type: none"> ⇒生姜生産農家及び高知県園芸連との信頼関係の構築による取引の継続
<p>■No. 9 本川きじの販路拡大 (いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本川手箱きじ生産企業組合 ・いの町 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額 : 13, 580 千円 <H26 : 4, 913 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額 : 11, 800 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内 PR イベントへの参加 : 4 回 ・(株)イーフィールド (名古屋市内で居酒屋・レストラン他経営)、サニーマート、地産外商公社による視察への対応 ・俺のフレンチ青山店との取引開始 ・まるごと高知内レストランとの取引開始 ・4～7 月販売額 : 3, 802 千円 (前年同期比 89. 7%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業力の強化による販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ⇒サンプル送付先への後追い営業などによる新規取引先の確保 ・大口契約先のニーズに対応した生産体制の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒求められる個体 (1. 2 kg : 雄相当) を生産することで生じる雌等の小さいキジの余剰在庫への対応 (販売先の確保等) ・本川手箱きじ生産企業組合の運営体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒定例会を活用した連携体制の強化 ⇒在庫管理及び原価計算の適正化による経常利益の向上
<p>■No. 12 仁淀川流域における林業・木材産業の振興 (仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林組合 ・林業事業者 ・素材生産業者 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>原木生産量 : 12. 0 万 m³ <H26:8. 0 万 m³></p> <p>製材工場原木利用量 : 5. 0 万 m³ <H26:1. 7 万 m³></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>原木生産量 : 9. 0 万 m³</p> <p>製材工場原木利用量 : 2. 3 万 m³</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・製材業者 ・自伐林家等 	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村・事業体等林業関係担当者会の開催(1回) ・増産に向けた事業体への聞き取り調査(2森林組合) ・森林経営計画・森の工場作成支援(1町、11事業体) ・大型製材工場の進捗管理及び指導(4回) ・管内森林組合の事業進捗管理及び経営指導 (高知中央森組3回、仁淀川森組3回) ・仁淀川町森林管理推進協議会(1回) ・佐川町森林ICTプラットフォーム構築意見交換会(2回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増産に向けたさらなる施業地の確保 ⇒市町村との連携による森林情報の収集・提供 ・森林組合の経営改善 ⇒関係各課と林業事務所で構成される支援チームによる 経営及び技術指導の実施 ・木材の需給調整を担う組織(仮称:森林管理センター)の 構築と人材の確保 ⇒仁淀川町森林管理推進協議会と組織体制及び人材育成 の検討
<p>■No. 13 地域性の高い特用林産物の生産拡大(仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》 特用林産物生産団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木まいたけ;いの町越裏門・寺川地区 ・マッシュルーム;によどマッシュルーム生産組合 ・シキミ・サカキ;越知町及び同町野老山地区 	<p>[目標(H31)]</p> <p>シキミ・サカキ生産量:17t<H27:0.0t> マッシュルーム出荷量:22t<H26:14.3t> 原木まいたけ生産量:0.6t<H27:0.1t></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>シキミ・サカキ生産量:1t マッシュルーム出荷量:14t 原木まいたけ生産量:0.26t</p> <p>[取組状況]</p> <p><シキミ・サカキ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者への指導(3回) ・生産体制構築協議(越知町2回) ・中央西地区シキミ・サカキ部会(1回) <p><マッシュルーム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者への指導(3回) ・試験研究機関との協議及び共同研究(3回) ・栽培手法の改善及び病虫害防除指導 <p><原木まいたけ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者への指導(2回) ・試験研究機関との協議及び共同研究(3回) ・流通販売支援協議(越裏門寺川まち支部2回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの開催及び普及啓発(氷室まつり) ・原木まいたけ完熟ほだ木の販売開始(8/10～17、100個限定) ・原木まいたけ栽培に向けて地域体制、施設整備が着実に進行 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産拡大 ⇒シキミ・サカキ:生産体制の構築及び圃場整備計画の検討 ⇒マッシュルーム:生産施設拡充のための適切な補助事業の検討
<p>■No. 14 自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化(佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町 ・自伐型林業に取り組む個人・団体 	<p>[目標(H31)]</p> <p>林業関連新規就業者数:24人(H28～31累計) <H27:5人></p> <p>山林の集約化面積:400ha(H28～31累計) <H27:0ha></p> <p>ものづくりと連携した起業者:3人(H28～31累計) <H27:0人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>林業関連新規就業者数:6人 山林の集約化面積:100ha ものづくりと連携した起業者:—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民向けの自伐型林業研修開催(2回、参加者延べ18人) ・地域おこし協力隊採用 9人(自伐5人、ラボ4人) ・佐川町森林 ICT プラットフォーム構築意見交換会(2回) ・さかわ発明ラボを開所し(4/1)、オープンラボ(4回)、ワークショップ(2回)、学校教育との連携(3回)を進めている。 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山林の集約化 ⇒所有者との交渉及び実施条件(所有者への還元率等)の検討・整理 ・自伐型林業のビジネスモデルづくり ⇒地域おこし協力隊の育成、法人設立準備
<p>■No. 15 宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業組合宇佐もん工房 	<p>[目標(H31)]</p> <p>うるめ商品の販売額:100,000千円<H26:61,550千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>うるめ商品の販売額:96,000千円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 一本釣りうるめ祭りの開催(5/15～5/31): 参加店舗数 18 店舗 売上向上に向けた協議: 8 回 商談会、イベントへの出展: 2 回 <ul style="list-style-type: none"> 商談件数: 20 件 新規取引先数: 3 件 ベンチャー企業育成支援事業の活用(ビジネスプランの作成) 4～7 月末うるめ商品の販売額: 27,761 千円 (前年同期比 94.6%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 原材料の安定確保 ⇒冷凍庫及び冷凍室の増設(H28 産振総合補助金を活用予定) ⇒漁協や漁師との連携による原材料の調達力強化 加工場の衛生管理の向上及び加工作業の効率化 ⇒厳しい衛生基準を求める企業との取引が増加傾向にあるため、県版 HACCP 取得に向けた加工場のレイアウト変更及び加工過程の衛生管理の徹底(H28 産振総合補助金を活用予定) ⇒手作業によるうるめのフィレ化工程の機械化 「宇佐の一本釣りうるめ」の認知度向上に向けた継続的・効果的な販売促進活動の実施 ⇒イメージキャラクター「うるえもん」を活用した「うるめマップ(土佐市内のうるめ料理提供飲食店 11 店舗の紹介)」でのシールラリーの実施(有効期限 H29.12 月末)
<p>■No. 17 「土佐和紙」の販売促進と保存・継承 (土佐市、いの町、仁淀川町、日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 手すき和紙協同組合 高知県製紙工業会 いの町紙の博物館 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>土佐和紙の販売額: 4.8 億円(機械すき 4.4 億円、手すき 0.4 億円) <H26: 4.8 億円(機械すき 4.4 億円、手すき 0.4 億円) ></p> <p>手すき和紙協同組合加入の事業体: 31 事業体 <H27: 31 事業体 ></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>土佐和紙の販売額: 4.8 億円 (機械すき 4.4 億円、手すき 0.4 億円)</p> <p>手すき和紙協同組合加入の事業体: 31 事業体</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> Kami 祭実行委員会(いの通信局チーム会)の開催: 1 回

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・土佐和紙関係者意見交換会の開催(いの町産経課、紙の博物館、手すき和紙協同組合、高知県製紙工業会、高知県工業振興課、地域本部): 1回 ・産業振興アドバイザー制度の活用(紙博売店の魅力ある店づくり): 3回 ・紙の博物館内における体験メニューの提供(5/3~5/5) 利用者数: ちぎり絵約 100人、マーブリング 34組、和紙缶バッチ約 50人、リングノート 30人、折り紙 ・土佐和紙に関するお問い合わせ受付窓口(紙の博物館内)の対応: 6件 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志国高知幕末維新博の地域会場である紙の博物館への集客と土佐和紙商品の販路拡大 ⇒紙の博物館売店の魅力ある店舗づくり(店舗レイアウトの変更、商品構成の見直し、職人・生産者の顔の見える売り方)
<p>■No. 20 地域産品を活用した冷菓等の製造販売(いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)高知アイス 	<p>[目標(H31)]</p> <p>冷菓等の販売額: 4.5億円<H26: 3.75億円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>冷菓等の販売額: 4億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外、海外(台湾、ハワイ、タイ)での商談会、プロモーション活動(4~6月): 5回 ・ハワイ商談件数 30件、受注数 30件 ・経営革新計画(経営革新支援事業)認定に向け準備中 ・大阪への営業拠点事務所設置(7月中旬)(2名雇用) ・全体の販売額(H28.1~7月): 2.35億円(前年同期比 116%) (内訳) 海外での卸販売額: 0.29億円(前年同期比 285%) 海外での催事販売額: 0.07億円(前年同期比 103%) 国内販売額: 1.85億円(前年同期比 112%) 売店販売額: 0.13億円(前年同期比 107%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外での販路拡大 ⇒大阪事務所を営業拠点として(大阪で2名雇用)、関西圏及び名古屋の販路開拓 ⇒売店隣地の倉庫を活用して菓子工房及び冷凍保管設備の整備、客席・トイレ増設の検討(H28産振総合補助金を活用予定) ⇒TV、新聞等での広報・宣伝活動

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 21 (株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大(仁淀川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)フードプラン ・仁淀川町 ・庭先集荷の農家 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額：7.6億円<H26:4.7億円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額：6.0億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新工場整備計画等に基づく関係者協議の定期開催 (9回：クラスター化を見据えた農業生産の検討、設備投資にかかる財源確保、資金計画の精査等) ・販売額(H27.10～H28.6月末)：4.1億円(前年同期比123%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売先の需要に対応できる製造施設の整備 ⇒本年度末の産振総合補助金審査会に向けた手続 ・仁淀川町を中心とした県産野菜の取引拡大 ⇒耕作放棄地の活用等を関係者で検討
<p>■No. 22 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進(佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町 ・JAコスモス ・地元農家 ・地元酪農家 ・佐川町商工会 ・地元商工業者 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>牛乳類商品販売額：1.3億円<H27:0.86億円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>牛乳類商品販売額：0.92億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザー制度を活用して「第2回地乳まつり」の企画等(地域にお金が落ちるイベント展開・取り組み・拠点について)を検討(2回) ・地乳みるく坦々うどんの提供開始：4店舗 ・牛乳類商品販売額：1.3億円(H27.8～28.7月末見込) (前年同期比102.3%) ・乳業者の事業計画にかかる協議(1回) ・乳業者がHACCP研修(1回)、土佐MBA「経営戦略入門」(1回)に参加 ・乳業者が旭食品(株)2016四国・中国・九州地区秋冬新商品発表会に出展 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地乳のブランド力向上 ⇒地乳プロジェクト推進会議の組織体制および事業内容の再検討 ・乳業者の加工処理能力向上 ⇒産振総合補助金活用に向けた検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大(越知町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)岡林農園 	<p>[目標(H31)]</p> <p>岡林農園の販売額:1.8億円<H26:1.4億円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>岡林農園の販売額:1.75億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡林農園の販売額:1.84億円(H27.9~H28.7月) (前年同期比139.7%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営改善 ⇒決算(H28.8月期)を待って、事業者の合意形成を図りながら取り組み方針を検討
<p>■No. 24 ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の生産・販売促進(日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)エスエス 	<p>[目標(H31)]</p> <p>ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額:90,000千円<H26:46,760千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額:70,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日産350~400ケースで月産(25日稼働)10,000ケースを目指した生産体制の整備 (パート雇用:2名増、オガ粉(原材料)の仕入先:1件増) ・4~5月生産量:日産470~500ケース 月産11,500~12,000ケース ・(株)コスモ工房の竹製品製造過程で発生する竹くずの使用について分析、試作を行った結果、一部の商品の原料に混ぜて活用することが決定(H28.9月~) ・販売額(H27.9~H28.6月):54,878千円(前年同期比142.7%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネコ砂の安定的な生産体制の構築 ⇒OEM先のアース・バイオケミカル(株)との連携強化 ・OEM先の新商品の開発 ⇒竹くず単体での商品開発も視野に入れ原料調達に向けて(株)コスモ工房との連携体制を構築
<p>■No. 25 「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化(日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日高村 ・(株)村の駅ひだか 	<p>[目標(H31)]</p> <p>直販市の販売額:200,000千円<H26:104,382千円> フットパス等体験観光客数:400人<H26:241人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>直販市の販売額:200,000千円 フットパス等体験観光客数:280人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村の駅ひだか運営等検討会(商品・月別売上分析や取組内容の検討等)の開催:4回 ・市内プロジェクト会議(進捗確認や課題整理及びスケジュール確認等)の開催:1回 ・H26.11月オープン以来の来客者数(レジ通過)30万人達成(5/17) ・4~6月来客者数(レジ通過):55,922人(前年同期比104%) ・4~6月直販市の販売額:61,499千円(前年同期比111%) ・4~6月フットパス等体験観光客数:26人 (前年同期比90%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販市の機能強化及び観光情報の発信 <ul style="list-style-type: none"> ⇒商品の集荷体制の確立 ⇒店舗の狭隘への対応 ⇒特産品生産者(生活改善グループ)の高齢化に伴う後継者づくり ⇒村内の観光資源の整備(案内看板、調整池遊歩道整備に関する許可、観光PR用のDVD、HP作成委託の検討)
<p>■No.26「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進(仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)仁淀ブルー観光協議会 ・土佐市 ・いの町 ・仁淀川町 ・佐川町 ・越知町 ・日高村 ・いの町観光協会 ・仁淀川町観光協会 ・(一社)さかわ観光協会 ・越知町観光協会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>仁淀ブルー観光協議会関連のツアー客数:5,500人 <H26:4,153人></p> <p>主要宿泊施設の宿泊者数:72,000人<H26:65,410人></p> <p>主要観光施設の入込客数:276,000人<H26:216,458人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>仁淀ブルー観光協議会関連のツアー客数:4,500人</p> <p>主要宿泊施設の宿泊者数:61,000人</p> <p>主要観光施設の入込客数:270,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ、フェイスブックによる情報発信 ・セールス件数:34件(東京、大阪、名古屋、岡山、香川、愛媛エージェント、JR四国DCキャンペーン、高知県観光説明会)→新たなエージェント開拓件数:4件 ・物産観光PR:1回 ・仁淀ブルー通信編集会議:3回、メールマガジン配信数:17本 ・一般社団法人仁淀ブルー観光協議会通常総会、理事会、観光担当者会の開催 ・仁淀ブルーブランド化事業ワークショップ:3回

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4～7月ツアー送客数：1,439人（前年同期比114%） ・ 4～6月主要宿泊施設の宿泊者数：16,159人 （前年同期比104%） ・ 4～6月主要観光施設の入込客数：57,464人 （前年同期比115%） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会関係者（事務局、市町村、観光協会、県（地域本部・地域観光課））のパートナーシップの強化 ⇒理事会や観光担当者会にて関係者による中長期計画の方向性の確認や実践に向けた協議を実施 ・ 仁淀ブルーをテーマにしたブランド化戦略の策定及び日本版DMOの構築に向けた関係者の合意形成 ⇒仁淀ブルーブランド化戦略の策定に向けた、域内の観光客の動態把握（アンケート調査）及び、関係者によるワークショップの開催 ・ 観光施設、宿泊施設、食事施設、レジャー施設等の事業者や商工会、J A、森林組合、漁協などの仁淀川地域観光に携わる関係者が協議会のパートナーとして連携するという意識の醸成及び自主財源の確保 ⇒仁淀川地域観光に携わる人材の育成 ⇒市町村、観光協会と連携して仁淀川地域の観光施設、宿泊施設、食事施設等の事業者を訪問し、協議会活動への賛同者の獲得及び賛助会費の確保 ⇒仁淀川地域のお土産品や特産品の開発・販売
<p>■No. 27 観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化（土佐市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土佐市 ・ 特定非営利活動法人新居を元気にする会など 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>—</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新居地区観光交流施設「南風（まぜ）」落成式（4/24）、オープン（4/27） ・ 運営検討会：7回 ・ 直販所来客者数（7月末）：11,568人 ・ 直販所売上高（7月末）：8,829千円 ・ 飲食店来客者数（7月末）：6,959人 ・ 飲食店売上高（7月末）：7,017千円

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客等の交流人口を増加させるための仕組みづくり ⇒観光案内、情報発信の強化 ⇒県道(土佐市、高知市)へ「南風(まぜ)」案内標識を設置予定(中央西土木事務所対応) ⇒(一社)仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客の受入や観光商品づくり ・観光交流施設「南風(まぜ)」の安定的な運営 ⇒直販所の商品確保に向けた生産者への周知、集荷体制の整備 ⇒飲食店の太平洋を臨むロケーションを活かした集客戦略の実践及び雇用の確保
<p>■No. 32 歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進(佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町 ・さかわ観光協会 ・佐川町内の地域づくり団体 	<p>[目標(H31)]</p> <p>上町地区への入込客数:20,000人<H26:15,000人> 上町まち歩きガイド利用者数:5,000人<H26:4,585人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>上町地区への入込客数:21,250人 上町まち歩きガイド利用者数:3,800人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐の観光創生塾への参加:3回(2人) ・四国DCイベント参加によるPR活動:1回 ・旧竹村呉服店改修及び出店者(使用者)の公募開始(公募期間:7/22~8/22) ・青山文庫磨き上げ(リアル化)のため工期をH28.11~29.2月(予定)として改修工事が決定。高知県歴史観光資源等強化事業費補助金(7/25交付決定)を活用し、改修工事の実施設計業務に着手した。 ・さかわ観光クラスター協議会を開催し、青山文庫リアル化事業の共有や、周遊コースの設定及び仕掛け等について協議(2回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる誘客に向けたおもてなしの体制づくり ⇒地域の頑張る人づくり事業の活用により観光に携わる人材の育成 ⇒歴史観光資源等強化事業費補助金の活用による青山文庫をはじめとした歴史資源の磨き上げ及びクラスターづくりの推進

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 34 体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化(越知町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・越知町</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>—</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <p>＜スノーピークを核としたアウトドア施設の整備＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計の作成に向けた協議 (4/20,6/7) (日の瀬および宮の前公園にセンターハウス、キャンプサイト、宿泊棟、カヌー・ラフト艇庫等の整備) ・キャンプ場の整備に向けた土木事務所との協議 ・スノーピークキャンプフィールド奥日田視察及び山井社長との事業計画協議 (7/22,23) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30.4月オープンに向けた事業進捗 ⇒用地取得に向けた所有者との交渉 ⇒町民等に事業の周知を図ることを目的に宮ノ前公園でアウトドアイベントを開催 (11/5,6 予定)
<p>■No. 35 「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化(日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・日高村</p> <p>・(株)屋形船仁淀川</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>乗船者数：4,500人<H26：3,261人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>乗船者数：4,100人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内プロジェクト会議による進捗確認や課題整理及びスケジュール確認等 (6/27) ・産業振興アドバイザーを活用した屋形船ガイド養成研修の開催：3回、ガイド候補者参加数16人 ・4～6月ガイド実践延べ人数：26人 ・4～6月屋形船の乗船者数：1,258人(前年同期比144%) (うちガイド付き乗船者数：172人) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の受入体制の充実 ⇒遊覧ガイドの養成・増員 ⇒(一社)仁淀ブルー観光協議会との連携強化 ⇒食事処や売店など観光拠点としての整備を検討 ⇒雨天時や冬期の体験メニューの企画・試行

2 平成28年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
該当なし		

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[追加] ■仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進（仁淀川町）

（概要）仁淀川町における基幹農業の生産維持と所得向上を図るため、基幹品目のひとつである茶を中心に、高付加価値商品の開発や販路拡大を推進する。これにより地域事業者の6次産業化を進め、市場の価格変動に左右されにくい農業経営の仕組みを構築する。あわせて、町内外から広く担い手を確保することにより、長期的に持続可能な経営体制を町内に展開する。

[修正] ■「NO.22 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進（佐川町）」の事業主体を明確化するとともに、主な内容に「牛乳加工施設の整備及び販路拡大」を追加する。

（理由）さかわの地乳を加工製造する(有)吉本乳業において、県外量販店への外商等販路拡大を推進するため、県版 HACCP の取得及び牛乳充填設備の機能強化等、現工場の加工処理能力の向上を図ることとしたため。

[修正] ■「NO.27 観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化（土佐市）」の指標及び目標を設定する。

（理由）平成28年4月に新居地区観光交流施設「南風（まぜ）」の直販所及び飲食店の運営がスタートしたことに伴い、事業主体において、指標及び目標を設定したため。

4 県民参画に向けた取組

- ・日高村商工会総会で第3期計画の説明(5/19)
- ・越知町商工会総会で第3期計画の説明(5/20)
- ・土佐市商工会総会で第3期計画の説明(5/23)
- ・いの町観光協会総会で第3期計画の説明(5/24)
- ・いの町商工会総会で第3期計画の説明(5/26)
- ・高知県版 HACCP 研修受講の働きかけ（企業組合宇佐もん工房、(有)高知アイス、本川手箱きじ生産企業組合、利休、(有)吉本乳業）
- ・四国銀行（7/4）各支店長等と地域本部との情報共有会議での第3期計画の説明

5 相談案件：4件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	5/25	農業	自然薯の生産・販売促進
2	5/30	観光	仁淀ブルーのPR・情報発信
3	7/5	観光	幕末維新博での地域の歴史史料展示
4	7/22	商工	紙製品の店舗の建設、販売促進（地域AP外）

有望素材シート（28年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	仁淀川町	素材名	茶
		関連素材	町内の特産物
現状・課題	<p><現状> 県内の土佐茶のうち40%近くを生産する仁淀川町は、古来から良質な茶の栽培地である。生産された茶葉は長らく、半製品である荒茶として県外に出荷されてきた。個性のある風味によって高級茶のブレンド用として活用され、茶農家の生計を支えてきたが、荒茶価格低迷や生産者の高齢化によって、将来的に茶産地の維持が困難な状況となりつつある。 仁淀川町においても現在、茶農家の所得維持・向上を図るため、荒茶価格に左右されない仕上げ茶（製品茶）の販路拡大を進めている。 さらに、町の基幹品目である茶の生産体制をより強固なものにするため、町役場において茶を中心とした農産物の「付加価値」「6次産業化」「担い手確保」を軸とした振興計画を策定したところである。</p> <p><課題> ○市場ニーズに合った農産物の付加価値化が浸透していない。 ○町内における生産・流通・販売体制の整備が進んでいない。 ○産業を持続させるための後継者および担い手が不足している。</p>		
方今向後の	○茶等を原料とした加工品の開発・販売推進 ○6次化製品の販売促進および町内販売拠点の整備 ○町の移住施策と連携した後継者および担い手確保		

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進			
	関係市町村名	仁淀川町			
事業の概要	仁淀川町の基幹品目である茶をはじめとした農業者の経営持続を図るため、農産物の高付加価値化を進め、6次産業化の推進を図る。 ○行政と生産者が一体となり、地域の特色を活かした「農業のまちづくり」を進めることで、1次産業における所得維持・向上を目指す。 ・町と事業者が連携し、基幹品目である茶等を原料とした加工品の開発を進める。 ・事業者の地商・外商を支援するとともに、町内における6次化製品の販売拠点整備について検討する。 ・町の移住施策と連携して担い手確保を進めるとともに、受入先における研修等フォローアップの支援も行う。				
事業主体等	【事業主体】	仁淀川町、㈱ビバ沢渡、町内の6次産業化に取り組む事業者			
	【関係機関】	高知県、仁淀川町商工会、仁淀川町観光協会、JAコスモス、沢渡茶生産組合			
主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H28】	1年後【H29】	2年後【H30】	3年後【H31以降】
	茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進	基幹品目である茶等を原料とした加工品の6次産業化の推進			
	商品開発、販売促進などによる経営の持続化	商品開発、販売などによる経営の持続化を支援し、仁淀川町産農産物のブランド化を推進			
	後継者及び担い手の確保・育成	移住施策と連携した担い手の確保、受入先における研修等フォローアップの支援			
	㈱ビバ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点施設整備	6次産業化に取り組む事業者による拠点整備の検討 ㈱ビバ沢渡施設整備に係る事業計画策定 ㈱ビバ沢渡施設整備 ㈱ビバ沢渡施設オープン			
指標・目標	項目	事業実施【H28】	1年後【H29】	2年後【H30】	3年後【H31以降】
	主要事業者の販売額	50,000,000円	55,000,000円	60,500,000円	80,000,000円
	うち㈱ビバ沢渡の販売額	20,000,000円	22,000,000円	24,200,000円	41,840,000円
	【設定根拠】 主要事業者の販売額：㈱ビバ沢渡等、町内事業者の現在の販売額の合計	【推計の考え方】 毎年10%の販売増と、㈱ビバ沢渡の拠点整備による販売の増を見込んだもの。			
総事業費等	総事業費	35,000千円（うち28年度 円） （内訳 国： 県： 7,500千円 市町村： 0,500千円 その他： 7,000千円）			
	想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）	国： 県：高知県産業振興推進総合支援事業 人的支援： その他 仁淀川町産業振興推進総合支援事業（案）			

追加項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
37 仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進 《仁淀川町》	仁淀川町の基幹品目である茶をはじめとした農産者の経営持続を図るため、農産物の高付加価値化を進め、6次産業化の推進を図る。	・仁淀川町 ・鍋ピバ沢渡 ・町内の6次産業化に取り組む事業者	アクションプランの取組開始：H28	・市場ニーズに合った農産物の付加価値化が浸透していない。 ・町内における生産・流通・販売体制の整備が進んでいない。 ・産業を持続させるための後継者及び担い手の不足	◆茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進 ◆商品開発、販売促進などによる経営の持続化 ◆後継者及び担い手の確保・育成 ◆鍋ピバ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点整備

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
茶等を原料とした加工品の開発による6次産業化の推進					→	主要事業者の販売額 (H27:50,000千円)	80,000千円
基幹品目である茶等を原料とした加工品の6次産業化の推進						うち、鯛ビバ沢渡の販売額 (H27:20,000千円)	41,840千円
商品開発、販売促進などによる経営の持続化					→		
商品開発、販売などによる経営の持続化を支援し、仁淀川町産農産物のブランド化を推進							
後継者及び担い手の確保・育成					→		
移住施策と連携した担い手の確保、受入先における研修等フォローアップの支援							
鯛ビバ沢渡及び6次産業化に取り組む事業者による拠点施設整備					→		
6次産業化に取り組む事業者による拠点整備の検討							
鯛ビバ沢渡施設整備にかか る事業計画策定	鯛ビバ沢渡施設整備	鯛ビバ沢渡施設 オープン					

修正項目(案)



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進 《佐川町》 修正前	地元の事業者が一次産品等を使った特長のある商品づくりを行うとともに、販売促進のための仕組みを構築することで地産外商を推進し、外貨の獲得を目指す。	・佐川町 ・JAコスモス ・地元農家 ・地元酪農家 ・佐川町商工会 ・地元商工業者	アクションプランの取組開始:H21 ・酪農家を含めた農商工連携組織「さかわの地乳プロジェクト推進会議」を設置し、産業振興総合補助金を活用して広報・販促資材を整備(H22、23) ・地乳を使った加工品の開発等を進め、「さかわの地乳」のブランド化や商品づくり、そのPR・販売促進の取組を実施(H21~27) ・地乳商品認定要綱を策定し、4事業者の25品目の商品を「ちちちブランド」に認定(H26) ◆地乳を使ったプリンやアイスクリーム、パン等の新商品を開発し、町内外の直販所等で販売されている。牛乳についても県内外の量販店との取引が広がっている。 ・地元農家で結成された「黒岩じるし」や尾川地区で紅茶生産を行う「明郷園」が、農業創造セミナーや産振アドバイザー事業を活用するなど、積極的に新商品の開発や商品の磨き上げを実施(H25~27) ◆H27から県内老舗旅館で紅茶の取り扱いが開始した。	・地乳ブランドを向上させるためには、酪農家の顔が見える商品づくりを進め、佐川ならではの地乳ネームバリューを上げていく必要がある。	◆地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり ◆売れる仕組みづくり






【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
22 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進 《佐川町》 修正後	地元の事業者が一次産品等を使った特長のある商品づくりを行うとともに、販売促進のための仕組みを構築することで地産外商を推進し、外貨の獲得を目指す。	・佐川町 ・JAコスモス ・地元農家 ・地元酪農家 ・佐川町商工会 ・地元商工業者 ・南吉本乳業	アクションプランの取組開始:H21 ・酪農家を含めた農商工連携組織「さかわの地乳プロジェクト推進会議」を設置し、産業振興総合補助金を活用して広報・販促資材を整備(H22、23) ・地乳を使った加工品の開発等を進め、「さかわの地乳」のブランド化や商品づくり、そのPR・販売促進の取組を実施(H21~27) ・地乳商品認定要綱を策定し、4事業者の25品目の商品を「ちちちブランド」に認定(H26) ◆地乳を使ったプリンやアイスクリーム、パン等の新商品を開発し、町内外の直販所等で販売されている。牛乳についても県内外の量販店との取引が広がっている。 ・地元農家で結成された「黒岩じるし」や尾川地区で紅茶生産を行う「明郷園」が、農業創造セミナーや産振アドバイザー事業を活用するなど、積極的に新商品の開発や商品の磨き上げを実施(H25~27) ◆H27から県内老舗旅館で紅茶の取り扱いが開始した。	・地乳ブランドを向上させるためには、酪農家の顔が見える商品づくりを進め、佐川ならではの地乳ネームバリューを上げていく必要がある。 ・牛乳の販路拡大	◆地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり ◆売れる仕組みづくり ◆牛乳加工施設の整備及び販路拡大

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					牛乳類商品販売額 (H27:0.86億円)	1.3億円	
地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり 加工品の開発・販売促進体制づくり・宣伝方法の検討等							
							
売れる仕組みづくり 施設整備の検討など							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					牛乳類商品販売額 (H27:0.86億円)	1.3億円	
地元農産物等を使った加工品の開発及び販売促進の体制づくり 加工品の開発・販売促進体制づくり・宣伝方法の検討等							
							
売れる仕組みづくり 施設整備の検討など							
							
牛乳加工施設の整備及び販路拡大 南吉本乳業加工施設の整備 県版HACCPの取得などにより、県外量販店への外販等販路拡大							

修正項目(案)

【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
27 観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化 《土佐市》	土佐市の新たな地域振興や情報発信の拠点として「観光交流施設を整備し、新居地区における交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。	・土佐市 ・特定非営利活動法人新居を元気にする会など	アクションプランの取組開始:H24 ・新居地区への新たな観光交流施設の整備の検討(H24~25) ・観光交流施設の整備(H27) ・観光交流施設の安定的な運営に向けた協議(H26~27) ◆施設運営組織の体制づくりや施設の活用策等について、特定非営利活動法人新居を元気にする会が施設全体の指定管理及び1階部分の直販所の運営を行い、2階部分には住民組織で構成する企業組合(H28.1月発足)がカフェの運営をすることが決定した。	・観光交流施設の安定的な運営	◆観光客等の交流人口を増加させるための仕組みづくり

修正前



【仁淀川地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
27 観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化 《土佐市》	土佐市の新たな地域振興や情報発信の拠点として「観光交流施設を整備し、新居地区における交流人口の拡大と地域の活性化を目指す。	・土佐市 ・特定非営利活動法人新居を元気にする会など	アクションプランの取組開始:H24 ・新居地区への新たな観光交流施設の整備の検討(H24~25) ・観光交流施設の整備(H27) ・観光交流施設の安定的な運営に向けた協議(H26~27) ・施設運営組織の体制づくりや施設の活用策等について検討(H27) ・特定非営利活動法人新居を元気にする会が観光交流施設(南風(まぜ))全体の指定管理及び1階部分の直販所を運営(H28.4.27オープン) ・2階部分は住民組織で構成する企業組合アルパトーマーザ(H28.1月発足)がカフェ(Café Nil mare(カフィニールマーレ))を運営(H28.4.27オープン)	・観光交流施設の安定的な運営	◆観光客等の交流人口を増加させるための仕組みづくり

修正後

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
観光客等の交流人口を増加させるための仕組みづくり					→		
直販所及びカフェの整備・オープン							
関係者での経営会議による直販所及びカフェを含めた観光交流施設の安定した運営							
他の観光施設と連携した観光メニューづくりや観光案内、情報発信など							
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客の受け入れや観光商品づくり							



第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
観光客等の交流人口を増加させるための仕組みづくり					→	施設来客者数 (H27:0人)	12万人
直販所及びカフェの整備・オープン							
関係者での経営会議による直販所及びカフェを含めた観光交流施設の安定した運営							
他の観光施設と連携した観光メニューづくりや観光案内、情報発信など							
一般社団法人仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客の受け入れや観光商品づくり							

高幡地域アクションプランの進捗状況等

H 2 8 . 9 . 1 2
高幡地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

全 41 項目のアクションプランについて、実行支援チームを編成し、事業推進に向けた協議と進捗管理を行うとともに、各支援制度の活用などにより、それぞれの目標の達成に向けて取り組んでいる。

農業分野では、まとまりのある産地づくりなどにより、みょうがやにらなど全国トップのシェアを誇る園芸品目の品質確保と生産拡大に取り組むとともに、中山間地域でのゆずや加工用わさびなど補完品目の生産拡大と複合経営などによる農家所得の向上を目指して取り組みを進めている。

また、本年4月にオープンしたJA土佐くろしおの直販所「とさっ子広場」は、地元の豊富な農産物、水産物の販売のほか、イートインコーナーでの軽食の提供なども始まり、販売額、来客数とも順調に推移している。

畜産分野では、四万十町産豚肉のブランド価値を高めるとともに、関連産業を含めた雇用と経済波及効果を目指して地域産業クラスターの創出に取り組んでおり、本年4月には、養豚農家である(農)四国デュロックファームが自ら経営する加工場及び直販所、飲食店が四万十町と高知市にオープンし、精肉・加工品の販売等を開始した。今年度内には、同じくクラスターを構成する(農)平野協同畜産が、規模拡大と生産効率の改善を図るため畜舎の整備を行う予定で作業を進めている。

林業分野では、「四万十ヒノキ」をはじめとする地域材の販売促進を図るため、四万十町森林組合で集成材製品の販売拠点となる展示・商談施設の整備に向けて協議を進めている。

水産分野では、平成27年度に須崎市と中土佐町において2か所の水産加工施設が操業を開始したが、それぞれ、県外の生協等への定期的な外商活動や県外からの産地視察の受入れ等により、販売量を徐々に拡大している。

観光分野では、4月に開幕した「2016 奥四万十博」は、オープニングイベントに約 25,000 人が訪れたほか、主要観光施設への入込客数、宿泊者数とも前年を上回る順調な滑り出しを見せており、引き続き、観光資源の掘り起こしを図るとともに、ガイドブックの作成やホームページ、ブログによるタイムリーな情報発信、旅行エージェントへのセールスなどに取り組んでいく。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上(須崎市、中土佐町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA土佐くろしお</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>主要農産物3品目(みょうが、きゅうり、ししとう)</p> <p>販売額:92億円<H27:85.6億円></p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[H28 到達目標]</p> <p>主要農産物3品目(みょうが、きゅうり、ししとう) 販売額: 82 億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目慣らし会: 22 回(7 月末) ・現地検討会: 6 回(7 月末) ・栽培現地実証圃の調査: 9 ヶ所 ・IPM 技術の実証圃の調査: 11 ヶ所 ・環境制御技術の推進の実証圃の調査: 13 ヶ所 ・各PT会で、活動計画の検討と関係者間での目標の共有 ・環境制御技術を活用した栽培に関心を持つ農家の増加 ・環境制御機器の導入に向けた補助事業の申請 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培技術の定着化 ⇒目慣らし会等の開催、定期的な巡回指導の実施
<p>■No.2 J A土佐くろしおが担う地域農業の活性化(須崎市、中土佐町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)土佐くろしお村村営みのり ・J A土佐くろしお 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>全作業受託面積: 10ha<H27:5ha> 一部作業受託面積: 54ha<H27:28ha> 販売額: 195,100 千円<H26:77,185 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>全作業受託面積: 9ha 一部作業受託面積: 30ha 販売額: 142,747 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>[米作受託]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全作業受託面積: 約10ha(7 月末) ・一部作業受託面積: 約10ha(7 月末) <p>[直販所]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販所(とさっ子広場) 開店(4/21) ・販売額: 61,000 千円(4/21~7 月末) ・新規雇用者数パート 16 名 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直販所の売上向上 ⇒出荷者・顧客の聞き取り調査、販売データ分析 ・米作受託地が点在 ⇒受託地をまとめることによる効率化 ・育苗センターの統合 ⇒県補助事業の活用に向けた支援

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.4 中山間地域での持続可能な農林業経営の確立(栲原町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA津野山</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>主要農産物5品目(みょうが、土佐甘とう、ししとう、米なす、小なす)販売額:3.2億円<H26:2.7億円></p> <p>農業分野補完品目(ゆず+加工用わさび)販売額:20,000千円<H26:8,099千円></p> <p>所得400万円以上の農家数:8戸<H26:6戸></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>主要農産物5品目販売額:2.9億円</p> <p>農業分野補完品目(ゆず+加工用わさび)販売額:14,500千円</p> <p>所得400万円以上の農家数:6戸</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者部会の開催:14回(7月末) ・実証圃の設置:10ヶ所 ・複合経営を進めるため、5品目に加えゆずや加工用わさびなどを組み合わせた栽培や、栽培技術の向上による所得の向上 ・帰省者向け相談会開催(8/14):2名 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者の確保 <p>⇒営農みらい塾開催</p>
<p>■No.5 葉にんにくを活用した加工食品の生鮮・販売の拡大(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)アースエイド</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:40,000千円<H26:5,719千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高:30,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示商談会等の参加:5件(7月末) ・須崎市産振補助金を活用した成分分析の委託、販売促進業務の業者委託 ・新規取引開拓:22件(7月末) ・売上高:6,370千円(7月末)(前年同期比114%) ・新商品開発:2品目(黒にんにく、アヒージョ) ・地元パン店等とのコラボによる新商品開発:1品目(じゃこペーゼピザ=パン(ピザ)×じゃこ×葉にんにくジェノベーゼ) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路の開拓 <p>⇒民間事業者を活用した県外への販売促進活動の強化</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.6 大野見米のブランド化(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおのみエコロジーファーマーズ 	<p>[目標(H31)]</p> <p>エコ米販売量:27t<H27:12.9t></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>エコ米販売量:16t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・執行委員会の開催:1回 ・ほ場の巡回指導による栽培指導の実施:2回 ・まるごと高知、高知大丸等での販促活動:5回 ・教育現場との交流活動:2回 <p>高知県立大学(COME☆RISH)田植え体験交流、生育状況確認</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の拡大 ・作付面積の拡大 <p>⇒生産拡大に向けた営農指導</p>
<p>■No.7 梶原産キジ肉の生産・販売の拡大(梶原町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・梶原町雉生産組合 ・梶原町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>販売額:22,000千円<H26:14,367千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>販売額:17,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地視察型商談会への参加:1回(3社商談) ・新規取引先:4件(うち県外3件) ・町内飲食店で提供されるキジ肉料理「キジグルメ」を龍馬パスポートに登録:9店舗参加 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓 <p>⇒商談会(大阪)への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手の確保 <p>⇒飼育マニュアルの作成による新規就農者の掘り起し</p>
<p>■No.8 つの茶販売戦略(津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA津野山 ・津野町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>茶製品販売額:34,000千円<H26:13,596千円></p> <p>荒茶販売額:54,000千円<H26:51,218千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>茶製品販売額:25,901千円</p> <p>荒茶販売額:52,489千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新茶の販促イベントの実施:4回(7月末) ・かぶせ茶の生産面積の拡大:0.65ha(0.15ha増)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・津野町が「茶業アドバイザー」設置し、イベント等でPR ・茶製品販売額：4,635千円(6月末)(前年同期比92%) ・荒茶販売額：47,769千円(7月末概算額) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶製品の販路拡大 ⇒イベント参加から販路拡大に重点をシフト ・茶産地の維持、耕作放棄地園対策 ⇒大手企業に対し、茶園管理経費の支援による景観保全に向けた企画を提案
<p>■No.9 みどり市を核とした「地消地産」の推進(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JA四万十 	<p>[目標(H31)]</p> <p>産直コーナーの販売金額 ：300,000千円<H26:221,286千円></p> <p>手作りキッチンの販売金額 ：32,000千円<H26:30,047千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>産直コーナーの販売金額：250,000千円 手作りキッチンの販売金額：33,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みどり市産直の運営に係る検討会：4回 ・みどり市総会：1回 ・野菜栽培講習会：5回 ・野菜栽培現地巡回指導：9回 ・手づくりキッチンの運営に係る検討：10回 ・ときめきバイキング：4回 ・産直コーナーの販売金額：53,700千円(7月末) (前年同期比110.4%) ・手作りキッチンの販売金額：12,600千円(7月末) (前年同期比132.0%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物の生産出荷量の増加 ⇒新規生産者への栽培技術指導 ・販売促進 ⇒新商品の開発やメニューの充実
<p>■No.10 四万十の栗再生プロジェクト(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十の栗再生プロジェクト推進協議会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>原材料供給量(JA出荷量)：45t<H26:17t> 加工品売上高：60,000千円<H26:33,320千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>原材料供給量(JA出荷量)：25t 加工品売上高：60,000千円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十の栗再生プロジェクト推進協議会：2回 ・栗技術チーム会：3回 ・協議会の課題解決に向けた関係機関等との協議：6回（8月末） ・栗の剪定技術指導のため栽培技術者（指導剪定士）1名を委嘱（H28年度） ・新商品の開発：3種類（栗スイーツ） ・加工品売上高：17,930千円（7月末）（前年同期比96%） ・「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」採択（ペースト加工用機械の導入） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗の生産出荷量の増加 ⇒栽培技術指導の徹底及び栗剪定士の養成
<p>■No. 13 四万十町畑作振興プロジェクト （四万十町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十野菜合同会社 ・(株)ハマヤ 	<p>[目標（H31）]</p> <p>販売額：118,911千円<H26:0円> 雇用者数：18人（累計）<H26:0人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額：76,660千円 雇用者数：7人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会：7回 ・四万十野菜合同会社の経営安定支援：4回 ・野菜栽培指導：7回（8月末） ・四万十野菜の販売促進（検討会・情報提供・協議）：3回 ・四万十野菜のブランド化に向けた会議：1回 ・販売額：2,396千円（7月末） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定した野菜の栽培 ⇒栽培技術指導の徹底
<p>■No. 14 四万十のうまい豚プロジェクト （四万十町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十ポークブランド推進協議会 ・農事組合法人四国デュロックファーム ・農事組合法人平野協同畜産 	<p>[目標（H31）]</p> <p>（農）四国デュロックファーム売上高 ：551,545千円<H27:518,785千円></p> <p>（農）平野協同畜産母豚数 ：500頭<H27:420頭></p> <p>（農）平野協同畜産年間出荷頭数 ：11,000頭<H27:8,400頭></p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[H28 到達目標]</p> <p>(農)四国デュロックファーム売上高：537,271 千円 (農)平野協同畜産母豚数：420 頭 (農)平野協同畜産年間出荷頭数：8,400 頭</p> <p>[取組状況]</p> <p>[四万十ポークブランド推進協議会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・打合せ会(クラスター計画の共有・修正、総会の準備、役割分担、進捗管理等)：8 回 ・通常総会に係る準備会：2 回 ・通常総会：1 回 <p>[(農)四国デュロックファーム]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工場及び直販所開業(4 月) ・バーベキュー施設開業(7 月) ・加工場、直販所(四万十町)売上 ：18,218 千円(7 月末) ・飲食店(高知市)売上：4,703 千円(7 月末) <p>[(農)平野協同畜産]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県産業振興推進総合支援事業に係る打合せ：12 回 ・農場 HACCP に係る打合せ、チーム会：6 回 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工場及び直販所の販売額の増加 ⇒イベントへの出店や営業活動等による販路の拡大及び顧客の確保
<p>■No. 15 「四万十ヒノキ」をはじめとする地域森林資源の販売(中土佐町、四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町森林組合 ・須崎地区森林組合 ・四万十町 ・中土佐町 ・地元事業者 	<p>[目標(H31)]</p> <p>地域森林資源の原木生産量(ヒノキ、スギ) ：15,400 m³<H26:13,999 m³></p> <p>集成材工場の売上高：3 億円<H26:4 億円></p> <p>F S C 等認証森林面積：8,013ha<H26:6,678ha></p> <p>販売連携事業者数：3 社<H26:0 社></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>地域森林資源の原木生産量：14,000 m³</p> <p>集成材工場の売上高：2.9 億円</p> <p>F S C 等認証森林面積：7,000ha</p> <p>販売連携事業者数：1 社</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大正集成材工場展示場整備に関する打合せ：6 回 ・四万十町森林組合大正集成材工場の外商回数：77 回 (7 月末) ・四万十ヒノキブランド化協議会 幹事会：1 回、総会：1 回

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・製品売上高：56,301千円(7月末) ・FSC認証面積：5,424ha(7月末) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十ヒノキの認知度の向上 ⇒ロゴマーク活用による認知度の向上 ・集成材製品の販路の拡大 ⇒集成材製品展示場の整備による外商活動の強化
<p>■No.22 野見湾産養殖カンパチの販路拡大(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大谷漁協 ・大谷漁協ネイリ部会 ・㈱みなみ丸 	<p>[目標(H31)]</p> <p>大谷漁協ネイリ部会・みなみ丸売上高 ：86,960千円<H26:4,320千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>大谷漁協ネイリ部会・みなみ丸売上高：57,612千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネイリ部会での勉強会：2回 ・HACCP取得に向けた保健所との協議：1回 ・奈良コープでの試食会の開催：3回(延べ6日間) ・須崎市ふるさと納税返礼品として「極美勘八」を全国発送 ・売上高：11,974千円(7月末)(前年同期比298%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路の開拓 ⇒県補助を活用した商談会への参加
<p>■No.23 浦ノ内湾産養殖マダイの販路拡大(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県漁協深浦支所 ・土佐鯛工房 ・乙女会 ・㈱大東冷蔵 ・(有)小島水産 	<p>[目標(H31)]</p> <p>販売数量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐鯛工房：100千尾<H26:60千尾> ・乙女会：300千尾<H26:53千尾> <p>[H28到達目標]</p> <p>販売数量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐鯛工房：約80千尾 ・乙女会：約300千尾 <p>[取組状況]</p> <p>[土佐鯛工房]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外のバイヤーによる産地見学会：2回 <p>[乙女会]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィレ等に加工した商品の販売拡大 ・HACCP取得に向けた検討 ・販売量 土佐鯛工房(海援鯛)：21,088尾(7月末) (前年同期比95%) 乙女会(乙女鯛)：18,169尾(7月末)(前年同期比65%)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 加工場の整備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒市補助活用に向けた支援 ⇒施設仕様に係る保健所等の指導・助言
<p>■No. 25 中土佐町地域ブランドの創出と販売促進(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 中土佐町 中土佐町地域振興公社 	<p>[目標(H31)]</p> <p>商品売上高: 35,987千円<H26:6,635千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>商品売上高: 22,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 鰹のたたき等の商品PR: 1回 商談会等: 1回(県内) 産地見学会等: 3回 OEM商品の製造販売開始 商品販売高: 7,800千円(7月末) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ぴんぴ鰹のタタキ」「上々鰹のタタキ」など自社ブランド製品の販売強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒県外の新規販売先の確保などの外商活動
<p>■No. 27 久礼の浜屋敷整備事業(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> 中土佐町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>—</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> 庁内シープロジェクト検討会実施: 13回 庁内施設(直販所)設計協議: 5回 出店予定者との協議: 4回 外部関連団体との協議: 3回 行政支援による設計・調整協議: 11回 議会説明、協議: 2回 町外施設の視察: 2回 運営会社設立登記(4/27) 道の駅の実施設設計が完了(7月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 町全体の賑わいの創出に繋がる施設や仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ⇒お宮さん通りの観光拠点施設や大正町市場等との連携 道の駅の着実な経営 <ul style="list-style-type: none"> ⇒産振アドバイザー等の活用 テナントへの事業サポート <ul style="list-style-type: none"> ⇒人材育成や商品開発に関する支援制度の提案等

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 28 「中土佐のうまいもん食わしちやお」 商品開発プロジェクト(中土佐町)</p> <p>《事業主体》 ・企画・ど久礼もん企業組合</p>	<p>[目標(H31)] 開発する商品数：年1商品(4商品) 商品売上高：50,000千円<H26:32,180千円></p> <p>[H28到達目標] 開発する商品数：1商品 商品売上高：35,000千円</p> <p>[取組状況] ・新商品試作(2商品) ・新商品開発(1商品)(マグロワタラー油) ・商品売上(店舗):3,027千円(7月末)(前年同期比106.5%) ・商品売上(全体):9,425千円(7月末)(前年同期比98.4%) ・商談会及び営業活動：2回 ・イベント等でのPR販売：3回 ・テレビ、取材等：1回 ・食品表示セミナー参加：1回 ・大正町市場の活性化販わいづくりへの取り組み：4回 ・中土佐町ふるさと納税業務受託</p> <p>[課題と今後の対応] ・新商品の開発 ・販路の拡大 ⇒アドバイザーの活用、セット商品の開発</p>
<p>■No. 30 津野町地産地消・外商販売戦略 (津野町)</p> <p>《事業主体》 ・(有)津野町ふるさとセンター ・(株)満天の星 ・津野町</p>	<p>[目標(H31)] 直販所総販売額：1.62億円<H26:1.53億円> 直販所販売額(高知店3店舗)：1億円<H26:0.91億円> 満天の星売上：2.27億円<H26:1.89億円></p> <p>[H28到達目標] 直販所販売額(高知店3店舗)0.8億円 直販所総販売額：1.58億円 満天の星売上：2.34億円</p> <p>[取組状況] ・直販所販売額(高知店3店舗)：25,249千円(7月末) (前年同期比87%) ・直販所総売上：48,966千円(7月末)(前年同期比95%) ・満天の星売上：86,405千円(7月末)(前年同期比116%) ・関係者経営会議等：7回 ・奥四万十博関連で道の駅食堂新メニューの開発</p> <p>[課題と今後の対応] ・消費者ニーズに応えた生産、供給体制 ⇒各店舗ごとの販売状況の分析</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 32 高幡地域における広域観光の推進 (高幡地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・高幡広域市町村圏事務組合(高幡広域観光推進本部)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>主要観光施設入込客数 : 2,459,000人<H26:1,954,206人></p> <p>宿泊者数: 51,300人<H26:40,925人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>主要観光施設入込客数: 2,433,216人 宿泊者数: 49,033人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥四万十博オープニングイベント来場者数: 25,000人 ・奥四万十博推進協議会本部会等開催: 7回 ・旅行会社、航空会社での企画商品化: 3社 ・テレビCM(15秒)の実施(愛媛127回、高知111回) ・道の駅でのPR: 松山 ・大型商業施設等でのPR: 6回(大阪、徳島、香川、愛媛、高知2回) ・スポーツ紙等での特集記事掲載(大阪、名古屋) ・旅行会社へのセールス実施 (東京、福岡、愛媛、岡山) ・コンベンション協会主催のキャラバン参加(首都圏、関西) ・高知県観光説明会への参加: 4回(東京、大阪、名古屋、岡山) ・道の駅飲食コーナー(6店舗)や飲食店での奥四万十博限定メニュー開発 ・商品への奥四万十博ロゴマーク使用登録件数: 17件 (満天の星豆菓子、土佐足袋、サークルK四万十うなぎ他) ・奥四万十博物産コーナーの設置(高知空港、共済会館、ひろめ市場) ・奥四万十博記念切手販売(須崎郵便局) ・主要観光施設入込客数: 735,890人(7月末) (前年同期比109%) ・宿泊者数: 15,571人(7月末)(前年同期比113%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続的な広域観光の推進 ・体験プログラムの造成、磨き上げ ⇒奥四万十観光動向調査の実施

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 33 須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光等の推進による地域の活性化(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須崎市 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>交流人口：23,000人<H26:16,000人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>交流人口：17,500人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者へのアンケート調査の実施(大学、社会人等) ・新たな体験メニュー導入(サップボード、シーカヤック) ・須崎市関係各課検討、地域団体との意見交換 ・交流人口：5,464人(7月末) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備計画の策定 ・受入体制の充実・強化 <p>⇒関係団体、地域住民等との協議</p>
<p>■No. 38 わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十町 ・(株)海洋堂 ・(株)奇想天外 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>ホビー館の年間入場客数：50,000人<H26：44,033人></p> <p>常勤雇用者数：5人<H26：5人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>ホビー館の年間入場客数：50,000人</p> <p>常勤雇用者数：5人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入館者数 18,531人(7月末)(前年同期比111%) (延べ入館者数：324,125人(H23.7~H28.7月末)) ・企画展開催：2回 (エヴァンゲリオンフィギュアワールド(3/5~5/30)) (海洋堂造形怪獣総進撃(7/16~10/24)) ・イベントの開催：3回 (ガラポンくじ、ダンスステージ、ビンゴ大会等) ・イベント広報用チラシ作成：2回 ・渋滞対策の実施：7回 (シャトルバスの運行及び警備員の配置) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋堂ホビー館を拠点とした滞在型観光の仕組みづくり <p>⇒観光協会や地元団体等との連携強化</p>

2 平成 28 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
<p>■No. 14 四万十のうまい豚プロジェクト (四万十町) ※7/1 採択</p>	<p>・分娩豚舎及び繁殖舎の新設、既存施設の離乳舎及び肥育舎への補改修による生産規模拡大 ・精肉や OEM 商品の販売拡大</p>	108,505 (16,746)

3 地域アクションプランの追加、修正、削除（予定）項目

[追加] ■肉用牛の生産拡大による地域産業の活性化（梶原町）

（概要）畜舎等を整備拡充し、生産飼育体制の安定・強化を図ることにより、（一社）津野山畜産公社による夏のカルスト放牧の継続、一貫生産飼育体制（繁殖牛、子牛、肥育牛の飼育）の確立を目指す。また、飼育頭数の増加による雇用の創出や地域産業の活性化を図る。

4 県民参画に向けた取組

- ・四国銀行等との意見交換会での第 3 期計画の説明(4/20、8/2)
- ・高知銀行との意見交換会での第 3 期計画の説明(6/15)
- ・商品開発及び経営改善を目指す事業者等への土佐MBAのPR
(道の駅「かわうその里」ほか 8 件)
- ・事業者へのHACCP研修会の受講案内（須崎商工会議所ほか 16 件）

5 相談案件：6 件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/18	食品加工	みょうがを使った加工品の原料確保について
2	4/20	製造業	土壌改良剤の製造設備の整備への支援について
3	5/12	食品加工	地域産業クラスターの概念等について
4	5/17	食品加工	田舎寿司の製造に向けた乾燥しいたけの供給先について
5	5/23	農業生産	就農のための農業機械の購入への支援について
6	7/21	水産養殖	水産養殖施設への支援制度について

有望素材シート（28年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し			
市町村名	梶原町	素材名 関連素材	肉用牛
現状・課題	<p><現状> 梶原町では、昭和47年度の国営草地開発事業において四国カルスト地域が公共育成牧場として整備され、夏期には四国カルストにて放牧、冬期にはそれぞれの農家で飼育を行うという、「夏山冬里方式」で梶原の農業振興を図ってきた。 現在、町内では津野山農業協同組合、一般社団法人津野山畜産公社及び各農家が牛を飼育しており、品種は土佐褐毛牛（土佐あか牛）が10%、黒牛が90%である。高幡地域の畜産の主産地は、四万十町と津野山地域で、津野町北川には県下に2つしかない畜産市場のひとつ、高原家畜市場があり、全盛期（平成3年）には梶原町において900頭以上の牛が飼育されていたが、平成19年には232頭にまで減少した。しかし、近年は若い農家の多頭飼育化が進み、平成27年には343頭に増えている。 （一社）津野山畜産公社は、これら農家の牛のカルスト放牧や一時預かり等も実施しており、特に夏期に牛を預けることによって農作業の負担軽減となり、畜産業だけでなく地域の園芸農業における重要な支援組織となっている。 また、津野山農業協同組合は、増殖育成センターにおいて牛の繁殖・肥育の一貫生産、キャトルステーションにより子牛の保育を行ってきている。</p> <p><課題> （一社）津野山畜産公社では、職員2名体制で運営しているが、30年度末には、ベテラン職員の定年退職により夏山冬里方式の仕組みを運営する人材が不在となる見込みである。 また、津野山農業協同組合は、農業協同組合法の規定や県内農業協同組合の合併方針により、増殖育成センターで行ってきた牛の繁殖・肥育の一貫経営から撤退する方針であり、事業を継続しない場合、地域内で生産される子牛の育成肥育及び子牛価格下落時の買支え支援などを行う機関が不在となり、畜産農家の負担増となって津野山地域の畜産は衰退する。 そのため畜産農家の支援、負担軽減のために事業を継承する畜産公社の組織強化、経営強化が必要である。</p>		
	方向性の	<p>（一社）津野山畜産公社は、地域の畜産の拠点を維持し、地域の産業を守るため、津野山農業協同組合の事業を継承するとともに、経営基盤の強化に向けて畜舎等の増築による飼育頭数の増頭及び体制強化を図るため、（一社）津野山畜産公社の職員の増員を行う。</p>	

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	肉用牛の生産拡大による地域産業の活性化
	関係市町村名	梶原町

事業の概要	<p>畜舎等を整備拡充し、生産飼育体制の安定・強化を図ることにより、（一社）津野山畜産公社による夏のカルスト放牧の継続、一貫生産飼育体制（繁殖牛、子牛、肥育牛の飼育）の確立を目指す。また、飼育頭数の増加による雇用の創出や地域産業の活性化を図る。</p> <p>1. 組織体制の強化 （一社）津野山畜産公社の職員の増員や、研修生の受入等を実施する。</p> <p>2. 畜舎等の整備 飼育数の増頭に向け、畜舎及び子牛飼育用共同施設（キャトルステーション）の整備拡充を行う。</p> <p>3. 飼育数の増加 現在、約220頭の牛を飼育・肥育しているが、経営基盤を強化するために畜舎完成後、約500頭の飼育を目指し増頭する。</p> <p>4. 梶原町産牛肉の認知度向上 ゆすはらグルメまつり・土佐牛まるかじり大会等による認知度向上による地産地消や外商の拡大を目指す。</p>				
-------	--	--	--	--	--

事業主体等	<p>【事業主体】 （一社）津野山畜産公社、梶原町</p> <p>【関係機関】 町内畜産農家</p>
-------	--

取組手順	事業実施【H28】	1年後【H29】	2年後【H30】	3年後【H31】	4年後【H32以降】	
主な内容・スケジュール	組織体制の強化	組織の再編	新規雇用 研修生受入等	研修生受入等	研修生受入等	研修生受入等
	畜舎等の整備		畜舎建築 キャトルステーション 建築			
飼育頭数の増加				繁殖用素牛の購入、出産子牛・肥育牛の飼育・出荷		
梶原町産牛肉の認知度向上			ゆすはらグルメまつり・土佐牛まるかじり大会			





指標・目標	項目	事業実施【H28】	1年後【H29】	2年後【H30】	3年後【H31】	4年後【H32以降】
【設定根拠】	出荷頭数（頭）	105	105	105	129	168
	販売額（千円）	93,700	93,700	93,700	104,000	127,000
	【推計の考え方】	畜舎増築の試算による H30年度：約120頭増頭 H31年度：約100頭増頭 H32年度：約60頭増頭				

総事業費等	総事業費	126,000千円	（うち28年度	千円）
	想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他）	<p>国：畜産競争力強化整備事業等 県：産業振興推進総合支援補助金 人的支援：</p> <p>その他：</p>		

追加項目(案)

【高幡地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
42 肉用牛の生産拡大による地域産業の活性化 《橋原町》	畜舎等を整備拡充し、生産飼育体制の安定・強化を図ることにより、(一社)津野山畜産公社による夏のカルスト放牧の継続、一貫生産飼育体制(繁殖牛、子牛、肥育牛の飼育)の確立を目指す。また、飼育頭数の増加による雇用の創出や地域産業の活性化を図る。	・一般社団法人津野山畜産公社 ・橋原町	アクションプランの取組開始:H28		◆組織体制の強化 ◆畜舎等の整備 ◆飼育頭数の増加 ◆橋原町産牛肉の認知度向上

第3期計画					H32以降	指標及び目標	
H28	H29	H30	H31	指標		目標値(H31)	
					出荷頭数 (H27:105頭) 販売額 (H27:100,969千円)	129頭 104,000千円	
組織体制の強化 組織の再編	新規雇用	研修生受入等					
							
畜舎等の整備 畜舎建築、 キャトルステーション建築		飼育頭数の増加 繁殖用素牛の購入、出産子牛・肥育牛の飼育・出荷					
							
構原町産牛肉の認知度向上 ゆずはらグルメまつり・土佐牛まるかじり大会							

幡多地域アクションプランの進捗状況等

H28.9.12

幡多地域本部

1 地域アクションプランの上半期の実施状況（総括）

(1) 総評

幡多地域における地域アクションプラン（46事業）は、これまで7年間の取り組みを土台に、産業振興推進総合支援事業費補助金などの助成制度の活用をはじめ、アドバイザーの導入や各種研修会の参加により、衛生・品質管理の徹底や新商品の開発などの生産体制の充実、強化を図るとともに、県内外でのPR、営業活動や商談会等への出展を通じて積極的な外商活動が展開されており、概ね順調に推移している。

農業分野では、「ユズ」、「直七」、「ぶしゅかん」等の柑橘の産地化やブランド化を目指した生産拡大が図られるなど順調に取り組みが進められている。特に「ユズ」は、農業公社を核として農地集積による新植が順調に進められており、栽培面積や生産量が着実に増加している。また、今秋には、共同選果・搾汁加工施設がフル稼働されることから、青果率の向上を目指した青果出荷やユズ果汁を活用した加工品づくりにも積極的に取り組む。

また、「洋ラン」も、フェアや催事等を通じた外商活動やインターネットを活用したビジネス展開などにより、取引先の拡大や新たな個人顧客の獲得に繋がっている。

林業分野では、土佐備長炭の生産窯（10窯）が整備され、一定の生産体制が確立されたことから、更なる生産量の拡大と品質の向上を目指した取り組みが推し進められている。引き続き、市場ニーズも高いことから、今後とも、ブランド化に向けた生産体制の確立や県外でのPRや販促活動を推進していく。

水産業分野では、「かつおの薫焼きたたき」をはじめ、「干物」や「メジカ」、「ブリ」、「きびなご」等の加工品づくりに取り組む水産加工事業者を中心に、生産施設の整備や生産機器の導入等の生産拡大のほか、国内外のイベントへの出展など積極的な外商活動の展開により、売上の大幅な増加や雇用の創出など大きな成果を上げている。さらに、地域の事業者や関係団体等が連携を図り、地域産業クラスターの形成を目指すことにより、拡大再生産や新たな事業展開など新たなステージに向けて取り組みを進めている。

観光分野の取り組みとしては、「幡多広域観光協議会」を核にして、6市町村や観光関係団体の連携のもと、滞在型・体験型観光の確立を目指し、広域での誘客力の高い着地型の旅行商品づくりと旅行会社等へのプロモーションが引き続き展開されている。併せて、本年は、日本版DMOの形成、確立に向けた組織体制の強化に取り組むとともに、体験型観光と融合させたスポーツツーリズムの仕組みづくりや教育旅行の仕組みづくり、さらには、多言語による広域ガイドブック等の作成などインバウンド対策にも積極的に取り組んでいる。

そのほか、今年4月にオープンした道の駅「よって西土佐」は、当初計画の2倍を上回る売上や集客を達成するなど順調な滑り出しである。また、「なぶら土佐佐賀」や「ふれあいパーク大月」などの道の駅においても、前年度より売上を着実に伸ばしており、事業展開が順調に進められている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 高知県産洋ランのブランド確立・流通促進事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石田蘭園 ・蘭遊六志会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：165,000千円<H26：80,438千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高：100,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇生産体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外拠点(タイ)とのリレー出荷の実施 ・新事業展開にかかる高知大学等との協議 <p>◇販路拡大、販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道をターゲットとした営業活動の展開 ・大手量販店のカタログギフト本誌掲載 ・秋の大阪商談会(高知県フェア)の開催に向けた関係者との打ち合わせ <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益アップに向けた更なるコスト削減策の検討 ⇒海外の生産拠点からの苗の安定的な供給体制の確立 ・切り花出荷の強化 ⇒新たな取引先や個人ユーザーの獲得など販路の拡大 ・新たな取引先の獲得 ⇒県外での高知県フェアの開催や商談会への参加などの営業活動の展開
<p>■No.2 四万十ぶしゅかん産地の形成とブランド化事業 (四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市 ・生産者 ・四万十ぶしゅかん(株) 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>栽培面積：1,440a<H27：490a></p> <p>生産量：46,800kg<H27：18,700kg></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>栽培面積：840 a</p> <p>生産量：25,600kg</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇産地化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者組合の設立 [5/27] ・接ぎ木苗の育苗、若木の管理等の定例的な講習会の開催 ・苗木の購入に係る市単独補助事業の実施 [4月～] <p>◇集出荷体制の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集出荷の仕組みづくりに向けた検討 <p>◇生産体制及び衛生管理体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討チーム会の開催 [4/8] <p>◇展示会や商談会への出展及び量販店への営業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十ぶしゅかん(株)・・・営業担当雇用(1名) ・22業者と商談活動 [うち4業者と取引開始]

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>◇各種媒体でのPR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶしゅかんソングのラジオCM放映〔6～8月〕 ・ぶしゅかんどリンクのテレビCM放映〔6～7月〕 ・スタンドPOPを市内宿泊施設や飲食店へ配布 ・ぶしゅかんヌーボー開催〔8/21〕 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者の生産技術、ノウハウの習得 ⇒生産者の栽培技術の向上や知識の習得に向けた研修会、講習会の継続的な実施 ・100年ぶしゅかんのコンセプトの共有 ⇒生産者組合の連携体制の一層の強化、結束力の向上 ・販売戦略の構築 ⇒ターゲットを絞った販売ルートの確立 ・ぶしゅかんの認知度の向上 ⇒地元の飲食店等での活用促進 ⇒メディアを活用したぶしゅかんのPR強化
<p>■No.3 6次産業化の推進による地域農業振興事業(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)大月農園 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:35,000千円<H26:12,314千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高:30,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇農産物の生産拡大、販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里芋(50a)、コガネセンガン(210a)生姜(4ha)の作付 ・ケールの作付時期や方法、数量等の検討 <p>◇農産物加工品の商品開発、販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社の乾燥機器を活用したOEM製造の受託促進 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取引先との安定的で良質な関係づくり ⇒主要取引先との連携、協力体制の構築 ・ケール等の栽培技術、管理技術の向上 ⇒栽培技術の向上に向けた取り組みの強化 ・本業の建設業とのバランスがとれた経営戦略、事業計画の確立 ⇒将来を見据えた経営戦略、事業計画づくり

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.4 三原村ユズ産地化計画の推進事業 (三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(公財) 三原村農業公社 ・三原村 ・J A高知はた 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>生産量：495 t <H27：150 t></p> <p>販売金額：129,388 千円<H26：16,738 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>生産量：175 t</p> <p>販売金額：27,500 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇総合的な生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産面積の拡大 ・定例的な栽培講習会等の実施 4回 〔4/28、5/27、6/28、7/28〕 ・三原ユズ搾汁用冷凍施設新築工事(国補助事業)に着手 (入札 6/13、10月末完成予定) ・県版 HACCP 研修会への参加〔6/2、6/18、6/19〕 <p>◇加工品づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズジュース(カート缶)の発売及びキャンペーン活動 (4月発売、5月～キャンペーン) ・道の駅や県内量販店を中心としたユズジュース(カート缶)の営業活動の推進〔4月～〕 <p>◇研修生の受入強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新農業人フェア、高知くらしフェア2016等への参画 〔6/4 大阪〕 ・県担い手育成センターの視察受入〔6/25〕 <p>◇地域との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センター定期総会で説明 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥培管理の徹底 ⇒生産指導の徹底による栽培管理体制の強化 ・研修施設のPR、新規就農者の確保 ⇒県外での移住相談会等への積極的な参加 ⇒県農業大学校等を通じたPR活動 ・ユズ加工商品(ユズジュース)の販路の再構築 ⇒ユズ加工商品(特に今年はユズジュース)の販売促進 に向けた戦略づくり、プロモーション活動の促進
<p>■No.6 町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大月町備長炭生産組合 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売量：200 t <H26：75.7 t></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売量：120 t</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>◇生産性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産組合の定例総会の開催(事業計画等の協議) [5/13] ・生産者(9名)による継続的な生産活動の実施 [4月～] (新規生産者の確保のため4月より新たに1名が町内で研修中) <p>◇販路拡大、広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都内の取引先(問屋)での視察研修会の実施(6/29～6/30) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木(ウバメガシ)の安定的な確保 ⇒山林の確保に向けた関係先との調整 ・安定生産に向けた生産量の増加と品質の確保 ⇒生産性の向上を目指した意識づけ、知識、技術の習得 ・炭の切れ端の有効活用 ⇒炭の切れ端の販路の確保 ・売上アップに向けた取り組み ⇒土佐備長炭の新たな販路開拓に向けた営業活動の強化
<p>■No.9 レストランチェーンと連携した地域水産物の流通・加工体制の推進事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ピアーサーティ 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:4.0億円<H26:2.7億円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高:3.7億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇生産体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肉加工施設の整備に着手 [4月～] (7月中旬に機械導入、9月稼働予定、新規雇用 5～6名予定) ・肉加工施設の冷凍庫の有効活用 [4月～] <p>◇販路拡大、PR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社レストランや系列店を中心とした取引量の拡大 ・県外での宿毛フェア等の販促イベントの実施 (「春の鯉祭、高知県宿毛湾産」 [3～4月] 「カツオフェア」 [5～6月] 等の開催) <p>◇その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿毛リゾート「椰子の湯」の指定管理開始 [7/1～] ・新商品(イサギのフィレ)の開発、系列レストランへの出荷開始 [4月～] <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理の徹底、社員教育の実施 ⇒県版HACCPの取得に向けた取り組みの強化

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに着手する肉加工事業の安定化 ⇒肉加工事業の経営戦略づくり ・売上アップに向けた販売量の増大と更なる取引先の拡大 ⇒自社レストラン等での周年によるイベントの開催 ⇒県外での商談会、催事等への参加
<p>■No. 10 宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)沖の島水産 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:6億円<H26:2.5億円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高:3.5億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇商品開発と販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社レストランの開店(5/27)に伴う新たな出荷の開始 ・県外の展示会・商談会への出展 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社レストラン以外への販路開拓 ⇒シーフードショーや居酒屋産業展への出展による新規販路の開拓 ⇒通信販売等の強化 ・衛生管理体制の充実 ⇒HACCP研修の受講
<p>■No. 11 宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)勇進 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:2.56億円<H26:0円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高:1.26億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会等への参加(産地視察型商談会)[5/31] ・県外での営業活動の実施(成約1件) ・シーフードショーなど秋の商談会への準備、取引先との調整 <p>◇生産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な生産ライン、人的な作業ローテーションの確立 [4月~] <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売上アップに向けた新たな取引先の獲得 ⇒商談会や催事等への積極的な参加 ⇒取引先の拡大に向けた県外での営業活動の強化 ・新工場を活かした衛生管理体制の確立 ⇒HACCP取得に向けた社員教育の実施

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 きびなご加工商品の生産販売体制強化事業(大月町)</p> <p>《事業主体》 ・八重丸水産㈱</p>	<p>[目標(H31)] きびなごケンピ売上高: 29,820千円<H26: 25,950千円></p> <p>[H28 到達目標] きびなごケンピ売上高: 26,500千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇新商品の開発、既存商品の磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品(イカのポン菓子)の試作 ・商品パッケージの見直しの検討 <p>◇販路拡大・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産物(きびなごケンピ、イカの日干し、太刀魚、ウツボ、イワシ等)の製造、取引先への継続的な出荷 ・日曜市への出店(毎週日曜日) ・産地視察型商談会への参加(成約5件)[5/31] ・県外での商談会の出展に向けた準備 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場ニーズに対応した新商品の開発 ⇒商品づくりのための機器等の導入 ・衛生管理にかかるノウハウの習得、施設の活用の見直し ⇒県版HACCPの取得に向けた取り組みの強化 ・売上アップに向けた商品の磨き上げや改良 ⇒売れる商品づくりのためのパッケージ見直し ・経理等を含めた経営力のワンランクアップ ⇒雇用等による体制強化を含めた経営力の向上
<p>■No. 15 衛生管理強化等による干物等水産加工品販路拡大事業(大月町)</p> <p>《事業主体》 ・土佐大月海産</p>	<p>[目標(H31)] 商品売上高: 33,000千円<H26: 14,549千円></p> <p>[H28 到達目標] 商品売上高: 20,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇販促営業、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チラシ、インターネットを通じた継続的な干物販売 [4月~] ・県内商社を通じたきびごまの販売[4月~] ・お中元の販売に向けた商品ラインナップの検討[5月~] <p>◇新商品の開発、既存商品の磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商社との連携による新商品(タコのから揚げ)の試作 [4月~] ・冷蔵庫、倉庫の増設[4月] ・商品ごとのマーケティング調査の実施[5月]

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新工場を活かした衛生管理体制の構築 ⇒県版 HACCP の取得に向けた社員教育の実施 ・きびごまなど加工品の販路の拡大 ⇒商談会等への参加などの外商活動の強化 ・売上アップに向けた新たな個人顧客の獲得 ⇒インターネット販売、カタログ販売の強化
<p>■No. 16 直七の生産、加工、販売の促進事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七生産(株) ・直七の里(株) ・直七酒販(株) 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>直七果実生産量：200 t <H27：117 t></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>直七果実生産量：200 t</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直七生産の新規参入に係る説明会の開催 (24 名参加) [5/27] ・搾汁の効率化のための機械の改善、修理 [7 月] ・生産面積の拡大に向けた作付開始 [4 月～] ・栽培技術の向上に向けた生産指導の実施 [4 月～] <p>◇新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タマネギドレッシングの試作 (商品試作を依頼) ・直七ポン酢のブラッシュアップ (高知市内の業者に依頼) <p>◇販路の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会、フェア等への参加 (産地視察型商談会 [5/31] ほか) ・外商活動の展開 (成約 5 社、商談中 2 社) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原料 (直七) の安定化 ⇒新規生産者の増加と計画的な作付面積の拡大による 原料供給の安定化 ・大手企業との取引に向けた衛生管理の徹底 ⇒県版 HACCP の取得に向けた社員教育の実施
<p>■No. 17 昭和初期からの地域伝統商品の販売 拡大等事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)菱田ベーカリー 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：60,000 千円 <H26：3,000 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高：35,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羊羹パンの首都圏でのテストマーケティングの実施 [5 月～]

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・羊羹パンの首都圏、京阪神、中京地域での広報戦略の確立〔6～8月〕 ・中部地域の大手スーパーにおける取引店舗の増加 (19店舗→26店舗) ・保存用ラスクの販路拡大に向けた営業活動の実施 <p>◇新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沢渡茶を活用した「沢渡の田舎蒸しパン」の発売 ・地元のトマトを活用した新商品の開発 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羊羹パンの更なる認知度の向上 ⇒インターネットを活用した通販事業の強化 ⇒市場調査を踏まえた地域ごとの販売戦略の確立 ⇒県内外の展示会、商談会の参加や営業活動による外商の取り組みの強化 ・保存用ラスクやその他の商品の販路拡大 ⇒公官庁等への売り込み
<p>■No. 18 土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト（土佐清水市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水ホールディングス(株) ・土佐食(株) ・(株)土佐清水元気プロジェクト ・宗田節をもっと知ってもらいたい委員会 ・土佐清水市 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：25億円（2社合計）＜H26：17.92億円＞</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高：19.8億円（2社合計）</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇経営戦略の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営計画、事業計画の策定〔6月〕 <p>◇原魚確保、生産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規雇用 正規2名、パート5名 ・メジカ漁師の研修生の受入：2名〔3月1名、4月1名〕 ・国の交付金活用による鍋とラベラーの導入、稼働 〔5月～〕 ・冷凍庫の稼働率の向上に向けた取り組み <p>◇商品開発、販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宗田節ポン酢の販売開始〔4/15〕 ・三原村トマトを活用したドレッシングの試作 ・宗田節だしシリーズの商品の販売促進 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体との連携体制の構築 ⇒メジカ関連クラスターの形成に向けた民間、行政等の関係団体が参画した協議の仕組みづくりの連携体制強化 ・衛生管理体制の強化

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・需要に対応した生産ラインの確立 ⇒衛生管理の向上、生産の効率化など、生産体制の更なる充実、強化 ・商品力の強化と販路拡大に向けた取り組みの強化 ⇒市場ニーズに対応した商品づくりの継続的な展開
<p>■No. 19 だしが良くでる宗田節商品の販路拡大促進事業（土佐清水市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ウェルカムジョン万カンパニー 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額：70,000 千円<H26：47,600 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額：70,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇外商活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会等への参加 1 回 ・県内外催事での販促 PR 活動 2 回（東京 2 回） ・産地視察型商談会への参加 [5/31] <p>◇生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カビ対策のための食品乾燥機の更新 ・賞味期間にかかるデータ収集 [4 月～] ・衛生管理トップセミナーへの参加 [6 月] ・HACCP 研修への参加 [7 月] <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアでの知名度を活かしたビジネス展開 ⇒県外での商談会や催事等への積極的な参加 ・需要に応じた生産体制の再構築（雇用を含む） ⇒パート職員の増強を含めた生産ラインの見直し ・研修を踏まえた県版 HACCP の早期取得 ⇒社員教育のためのアドバイザーの導入
<p>■No. 20 幡多地域産品販売体制構築事業（幡多地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿毛市 ・土佐清水市 ・四万十市 ・大月町 ・三原村 ・黒潮町 ・生産者 ・加工事業者 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>—</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>関係者による組織体制の基盤づくり</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇推進組織体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設立準備会の開催 [4/18、4/28] ・協議会の設立 [5/19] ・産地視察型商談会への参加促進 [5 月] ・進捗管理のための推進チームの発足 [6 月] ・事業計画、年間スケジュール等の策定 [5 月] ・事業者のリストアップと商品提案書の作成促進 [6 月] ・県版 HACCP 取得に向けた意識の啓発 [6 月] ・フェア開催に向けた事業者との協議 [8 月]

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6市町村の結束力や連携体制の一層の強化、担当窓口の機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒関係者による定期的な会議等の開催 ・外商活動や商品 PR などの具体的な販売戦略の構築 <ul style="list-style-type: none"> ⇒参加事業者のラインナップと商品提案書の作成 ⇒外商活動の展開（産地視察型商談会の開催、県外バイヤーの招聘、四万十まるごと幡多まつりなど）
<p>■No. 21 「いちじょこさん市場」を拠点とした中心市街地活性化推進事業（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり四万十(株) 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：62,935 千円<H26：44,250 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高：45,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇販売促進に向けた取り組みの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集出荷業務の継続 (集荷者数 35 名、出荷者数 130 名をキープ) <p>◇地域拠点としての機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR による催事スペースの有効活用（老人クラブ等） <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗の継続に向けた経営改善 <ul style="list-style-type: none"> ⇒出荷者の拡大など集出荷体制の強化 ・売上アップに向けた更なるスペースの活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒商店街や地域団体との連携強化
<p>■No. 22 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト推進事業（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)しまんと美野里 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>栗加工品製造量：8.0 t <H26：4.0 t></p> <p>原材料（生栗）仕入量：12 t <H26：6.5 t></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>栗加工品製造量：6.0 t</p> <p>原材料（生栗）仕入量：10 t</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇商品の付加価値化と情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パウダーを活用した商品開発（ビスケット、焼きショコラ、マシュマロ）、道の駅を中心に販売開始 ・生産体制の充実、強化（焼き栗の加工機械の導入） <p>◇栽培しやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家定例会の開催 [4/18、6/22] <p>◇地域の素材を活かした加工品づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユズ製品の加工、販売

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な栗の仕入れ ⇒JA 高知はたなど関係機関との連携強化 ・道の駅を中心とした販売促進、PR ⇒道の駅での統一した商品ラベルの作成と貼付
<p>■No. 23 四万十牛の生産・販売拡大事業 (四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)四万十牛本舗 ・西土佐中央牧場 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：200,000 千円<H26：131,466 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高：150,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇販路拡大と新商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新メニューの開発 1 件 (牛スジ煮込み) ・道の駅「よって西土佐」との連携 (そばろ弁当の発売) <p>◇原材料供給体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンタル牛舎の運営開始 (3 月完成、4 月運営開始) ・ブランド牛 (飛騨高山市) の視察、研修 [6/3~6/5] ・子牛 30 頭の購入 (総数 130 頭) ・プロジェクトチームの編成 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化に向けた取り組み ⇒四万十牛の認知度の拡大に向けた商品開発や店舗の PR 及び販促活動の強化 ・道の駅を通じた加工品の販売促進 ⇒消費者のニーズに対応した継続的な加工品づくり ⇒継続的な新たな加工品開発 ・子牛価格の高騰、糞尿処理対策、繁殖農家の確保など、一連の課題解決 ⇒関係機関の連携による農業好循環の推進体制の構築
<p>■No. 24 売り出せ西土佐プロジェクト推進事業(拠点ビジネス) (四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)西土佐ふるさと市 ・四万十市 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：120,200 千円<H26：0 円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高：100,336 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇地域ならではの商品づくり、販売活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道の駅「よって西土佐」開業 (3/31 プレオープン、4/10 グランドオープン) ・各種イベントへの出店 (週休日、ゴールデンウィーク等に実施) ・野菜フェアの開催 ・名古屋 JTB 受入 [7~8 月]

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>◇周辺施設、商品開発等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街とタイアップしたイベントの開催 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松山サテライトの本格稼働に向けた調整(人材確保等) ⇒松山アンテナショップの早期オープンに向けた準備 ・店舗の売上げの拡大 ⇒運営会議の継続的な開催(情報共有・改善点等への対応協議) ⇒新たな商品、メニュー等の開発 ⇒集客アップのためのイベント等の開催 ・周辺整備の計画づくり ⇒来年度予算に向けた整備計画の作成
<p>■No. 25 四万十地域の素材を活かした新たな 外商戦略構築事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しまんと百笑かんばん(株) ・四万十市地域商品研究会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>商品売上高: 50,000千円<H26: 30,000千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>商品売上高: 40,320千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇自社商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山椒を活用した「だし醤油」の開発 <p>◇販売拠点整備と販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内外での販促活動(産地視察型商談会 1回) ・国外(シンガポール)での商談会 [4/15] (商談会の実施1回、高知県フェア打ち合わせ1回) ・台湾微風広場高知県フェア打ち合わせ [6/7~6/11] <p>◇その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十市地域商品研究会の開催 [4/22、6/24] ・衛生管理にかかる取り組み推進(HACCP研修ほか) ・第1回人材育成セミナーの主催(23名参加) [5/27] ・産業振興シンポジウムで事例発表 [5/30] <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知フェア(台湾)の開催に向けた準備 ⇒海外展開の戦略づくり、関係者とのネットワークの構築 ・首都圏での販路拡大 ⇒営業活動拠点の整備に向けた物件等の情報収集 ・地域商品研究会の活動強化(会員の確保等) ⇒人材育成セミナーの継続開催及び会員募集

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 26 地元農産物等を活用したペット関連商品の開発・販売拡大事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・WAN LIFE</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:10,352千円<H26:2,088千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高:6,073千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の事業者と連携した商品開発 ・市内の農産物(芋)の活用に向けた市との協議 ・産振アドバイザーの活用[8月] <p>◇販促活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・即売会への参加 [4/16 東京自由が丘、4/17 神奈川県鎌倉] ・商談会への参加[6/10 お台場ペットショップ] ・ANAの「ペットらくのりサービス」への商品提案の検討 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな商品の販売戦略(商品開発、パッケージ、商品PR)の確立 ⇒経営アドバイザーの導入 ・都市部での商品の認知度の向上 ⇒都市部での販促活動の展開
<p>■No. 27 四万十の地域食材を中心とした商品開発・販売事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)LLPしまんと</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:37,500千円<H26:24,297千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高:29,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇商品のラインナップの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の発売(紫芋かりんとう、黒糖かりんとう)[4/20] ・ソイチップスの発売に向けた準備 <p>◇販路開拓、販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業活動、各種イベント等への参加 3回 [4/16、5/3、5/22~5/24] ・第一弾のOEM商品の発売(黒糖かりんとう)[7/2] ・野菜パウダー等を活用したランチを提供 <p>◇組織強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織を株式会社化[4/1] ・四万十市地域商品研究会に加入[5月] ・衛生管理に係るセミナーを受講[6/2]

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産コストの縮減 ⇒生産ラインの見直しやコストの削減に向けた取り組み ・新商品の販路拡大 ⇒商品のPR活動の強化、販売先の獲得に向けた営業活動の展開
<p>■No. 28 素材の特性を活かした地域色豊かな冷凍加工食品の開発・製造・販売事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)和 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：23,852千円<H26：11,744千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高：14,680千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内のイベント等での実演販売の実施(13回、15日) ・産地視察型商談会への参加[5/31](通販での契約2社) <p>◇商品開発及び改良</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しいたけ餃子試作品の開発 ・地鶏餃子のパッケージを検討 ・地元の事業者と連携した肉まんの開発 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品をはじめとした販売先の確保 ⇒商談会等への参加など継続的な外商活動の展開 ・衛生管理の徹底のための環境づくり ⇒県版 HACCP の取得に向けた取り組みの強化 ⇒土佐 MBA の受講
<p>■No. 29 大月町まるごと販売事業(拠点ビジネス)(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一財)大月町ふるさと振興公社 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：2.5億円<H26：1.86億円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高：2.4億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇地場産品総合販売ビジネス(ファンづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集客に向けた各種イベントの実施 [4/24つつじ祭り、5/5GW イベント] ・おおつきふれあいマーケットの実施 [4/17、5/15、6/19、7/17、8/21] ・イベント等への出店 (はた旅観光・物産展海遊館、ウミノフォトフェス等)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>◇町内事業者と連携した特産品開発生産ビジネス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年用の通販ビジネスの検討 ・ふるさと納税向けの商品ラインナップ ・テイクアウト商品の開発、販売 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更なる集客アップに向けた戦略づくり ⇒売店における商品の充実、強化 (幡多地域の商品の充実等) ⇒テイクアウト商品の充実、強化 ・カタログ販売やふるさと納税関連企画販売等の強化 ⇒通年によるカタログ販売の展開
<p>■No. 30 苺を核とした6次産業化確立事業 (大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業生産法人 苺氷り本舗(株) 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額：苺氷り 80,000 千円<H26：65,120 千円> その他 7,600 千円<H26：4,000 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額：苺氷り 70,000 千円 その他 7,600 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇販路拡大、広告宣伝活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外での営業活動の展開(新規案件 15 件) ・取引先との関係構築のための販売フォロー ・イベントへの出店 (T シャツアート展、ウミノフォトフェス等) <p>◇新商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OEM 商品の試作(茨木の小豆) ・生産苺の収穫(6 t) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外での販路拡大、各取引店舗における販売量の増大 ⇒販売先の確保に向けたコンセプト見直しや経営戦略づくり ・新たな商品づくり、OEM 生産の促進 ⇒苺氷り以外の商品づくり
<p>■No. 31 三原村のどぶろくによる地域活性化事業(三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三原村どぶろく組合 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：8,630 千円<H27：4,540 千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高：5,900 千円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>◇組織体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人化に向けた準備 [4月～] 法人形態や酒類販売免許の協議、税理士を招いた勉強会の開催、関係先との協議など <p>◇販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントへの出展 (5回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人化に向けた組織体制の確立 ⇒早期の法人化に向けた申請手続き等の遂行 ・新法人の事務局体制の整備 ⇒10月の合同会社の円滑な設立及び事務局体制の確立 ・新法人(合同会社)としての新たな販路の確保、PR活動 ⇒商談会の参加など、県外での外商活動の強化
<p>■No. 32 地域産トマトの加工・販売の推進事業(三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ベストグロー 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高: 65,000千円 < H26: 32,850千円 ></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高: 40,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇生産体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規雇用(3名)[6月～] ・新商品の開発に着手(トマトピューレは完成。トマトジュースは検討中) ・新商品に係る加工機械(充填機、攪拌機、ラベル貼機)の導入 ・新商品のパッケージデザインづくり <p>◇販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地視察型商談会への参加[5/31](サンプル送付2社) ・トマト加工品関連のパンフレットの更新 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理体制の強化 ⇒県版HACCPの取得に向けた取り組みの強化 ・加工商品の認知度の向上 ⇒新商品をはじめとした加工品(主要4商品)の販路開拓 ・四万十町ハウスの稼働に伴う規格外トマトの活用促進 ⇒規格外トマトの活用戦略づくりと取引先の確保

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 33 天日海塩を活用したビジネス推進事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(有)ソルティープ</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:23,000千円<H27:12,000千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高:15,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇生産施設の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規雇用(1名)[4月~] ・製塩施設の整備[4月着工、6月完成] <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな販売ツール(パンフレット等)の作成 ・県外での外商活動の展開(3ヵ所) <p>◇その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内事業者との協働による新商品の開発(豆腐、スモーク塩、のりしおづくだに) ・町のふるさと納税事業への商品提案(塩商品+塩づくり体験) ・塩づくり体験の受入(実績 33名)[4~5月] <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塩づくり体験への誘客促進 ⇒体験観光の促進に向けた体験施設の整備及び案内看板等の設置 ・商品の知名度アップと更なる販路の拡大 ⇒各種商談会への参加による販路開拓の促進 ・県内事業者等への天日塩の活用促進 ⇒県内事業者との連携強化による新たな商品の開発や素材活用の提案
<p>■No. 34 佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)なぶら土佐佐賀</p> <p>・黒潮町</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:209,945千円<H26:118,658千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高:199,829千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇組織体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月から正社員雇用(1名) ・運営に係る定例会の開催(町と関係機関との連携) (取締役会 6/27、社内会 月1回、現場会 不定期、株主総会 6/27) ・人材育成に向けた社員教育の実施(棚卸等に係る勉強会など) ・売上アップに向けた戦略の構築

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>◇町内の関係施設と連携した商品開発、販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮一番館との連携(小鉢メニューの充実、強化) ・地元水産業者のカタログへの商品掲載(文旦ゼリー入り塩ソフト) ・新メニューの開発(たたきまぐろ丼、ふるさと御膳、キッズメニュー等) <p>◇観光案内等の機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幡多広域デジタルサイネージ設置[4月] ・イベントの実施(2周年記念イベントの開催、カツオと鯉のぼりの川渡しフェスティバルとの連携) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒人材育成(接客マナーの向上など) ・誘客促進のための魅力ある店舗づくり <ul style="list-style-type: none"> ⇒定期的なイベント等の開催 ⇒観光等の幡多地域の情報発信機能の強化 ⇒商品の品揃えの充実、商品アイテムや数量の増大、スペースの有効活用 ⇒食事メニューの充実 ⇒黒潮一番館など地元の事業者や関係機関との更なる連携強化
<p>■No. 35 幡多地域の資源を活用した水産加工品等販売促進事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)土佐佐賀産直出荷組合 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:130,310千円<H26:84,159千円></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高:115,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇商品開発、販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生協系の事業者を通じたカタログ販売の実施 ・新商品の開発 2件(シイラのチーズ春巻き、カツオのなめろう) <p>◇スタッフ教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理研修会等への参加 <p>◇生産の担い手対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規雇用 <ul style="list-style-type: none"> (【4月】製造1名、事務1名、【6月】製造1名) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ⇒生産効率アップのための生産機器の導入(フィレマシーン、ヘッドカッターなど)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・生協系の取引先への営業強化 ⇒生協系の主要取引先(4社)との連携強化による取引量の増大 ・県外でのPR販売など営業活動の強化 ⇒中部地区をターゲットとした販路開拓 ・従業員教育の強化(県版HACCPの取得など) ⇒社員教育の継続的な実施
<p>■No. 36 地域資源を活かした防災関連商品推進事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒潮町 ・(株)黒潮町缶詰製作所 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:1億円<H26:0.13億円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高:0.5億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇施設・体制の強化充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月から新規職員を雇用(品質管理担当1名) ・各種研修会の受講(県版HACCP、食品表示等) ・外部講師招聘による商品開発や製造工程に係る現場研修 <p style="text-align: right;">[5/6]</p> <p>◇新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グルメ缶の新商品開発(うなぎのひつまぶし、かつおのオイル漬け、カレー等) <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災関連商品展示会への参加 [6/2~6/3] ・県内の公官庁や金融機関への備蓄用缶詰のPR、販売活動 ・トップセールスの実施 ・イベントへの出店 (高知赤旗まつり、Tシャツアート展、防災フェスタ in 宿毛など) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質管理、衛生管理体制の強化 ⇒県版HACCPの取得に向けた取り組みの強化 ⇒継続的な社員教育の実施(現場研修による社員教育の実施) ・売上アップに向けた販売戦略の確立 ⇒備蓄用缶詰、グルメ缶詰ごとのターゲットを絞った販路開拓

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 37 幡多広域における滞在型・体験型観光推進プロジェクト(幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(一社) 幡多広域観光協議会</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>入込客数: 1,296,000人<H26: 1,274,622人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>入込客数: 1,296,000人</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇商品造成・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「土佐の観光創生塾」への参加 [6/8、6/28 25名] <p>◇誘客促進の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般旅行: 高知県観光コンベンション協会主催のセールスキャラバン参加 [5/26~5/27 東京、6/9 大阪] ・教育旅行: 関西でのセールス活動 [6/13~6/14] ・受入実績: 中学生受入 471人(大阪 361人、兵庫 110人)、 <p>◇組織強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域観光推進部会等の開催 [4/8、5/30、6/2] ・藤沢アドバイザーによる現地指導アドバイス [5/10~5/11] ・DMOの確立に向けた関係者間の協議 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周遊観光につなげる旅行商品づくり ⇒「土佐の観光創生塾」への参加継続による関係団体と連携した周遊観光商品づくり ・誘致促進に向けた取り組み ⇒高知県、高知県観光コンベンション協会や市町村等と連携した誘致活動の継続 愛媛県南予地域と連携したPR活動の展開やインターネット広告等を活用した誘客促進PRの展開 ・関係団体と連携した組織強化 ⇒地域連携DMOへの登録申請による多様な関係者を巻き込んだ観光地づくり
<p>■No. 38 幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口拡大プロジェクト(幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(一社) 幡多広域観光協議会</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>入込客数: 8,470人<H26: 4,600人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>入込客数: 5,291人</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇地域の受入体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験、民泊の受入体制づくり ・集落活動センター等と連携した受け皿づくり ・ミズノカップ等大会の受入(宿毛市、黒潮町) [7月] <p>◇PR、誘致活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携によるプロモーション活動の展開

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>◇広域連携による取り組みの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幡多広域観光協議会におけるワンストップ窓口(予約等)の機能強化 <p>◇市町村の連携体制の仕組みづくり(サッカー、フットサル、グラウンドゴルフ、野球等)</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人工芝の完成を見越した施設等のPR促進 ⇒継続的なプロモーション活動の促進 ・スポーツツーリズムに係る広域観光協議会と市町村ごとの体制づくり ⇒他市町村の施設概要や受入情報を提供できる仕組みづくり ⇒各市町村の担当窓口の一本化(誘致と施設管理) ・観光コンベンションや各種競技団体等など関係機関との連携強化 ⇒スポーツツーリズムに係る関係機関との協議の場を設定 ・地域の受入体制づくり ・集落活動センターなど地元住民の積極的な関わり ⇒集落活動センター等を活用した宿泊・お弁当販売、体験受入をセットにした仕組みづくり
<p>■No. 40 竜串地域観光再生プロジェクト (土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市 ・(一社)土佐清水市観光協会 ・NPO 竜串観光振興会 ・竜串自然再生協議会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>入込客数：125,000人 <H26：95,000人></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>入込客数：106,250人</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇竜串地域の再生に向けた総合的な計画づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体構想の策定に向けた意見交換 [5/13]、協議 [5/17] ・道の駅等、周辺施設の整備に向けた検討、協議 <p>◇竜串地域との連携体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験型観光プログラムづくり [土佐の観光創生塾への参加 6/8、6/28] ・各種ツアー、体験型観光メニュー受入 ・地元調整と住民参画の仕組みづくりに向けた検討 [竜串再生協議会 5/17] <p>◇スノーピークを核としたアウトドア施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本設計の作成に向けた協議 [4/22、6/8] ・モニタリングキャンプイベントの実施 [7/16～7/18] ・キャンプ場の整備に向けた国等との調整、協議

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	◇観光拠点施設の整備 ・海洋館の再整備、ビジターセンター、ジオパークセンターの建設に向けた調整、協議 [課題と今後の対応] ・全体ビジョン策定にかかる行政、民間の連携体制の構築、意思統一 ⇒竜串総合計画の策定 ・地元を巻き込んだキャンプ場運営に向けた推進体制づくり ⇒定期的な地元説明会の開催による情報提供 ⇒キャンプイベント開催等による地元住民との協働の仕組みづくり ・体験型プログラムづくりに向けた体験メニューのブラッシュアップ、人材育成 ⇒地域住民を巻き込んだ体験プログラムの造成 ⇒地域住民を主体としたインストラクターの育成

2 平成 28 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
■No. 17 昭和初期からの地域伝統食品の販売拡大等事業(宿毛市)	・羊羹ぱんの駅ナカ催事マーケティング事業 (首都圏駅構内でのテストマーケティング)	1,949 (902)

3 地域アクションプランの追加、修正、削除(予定)項目

[追加] ■幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等事業(宿毛市)

(概要) 地元産の柑橘等を利用した新たな事業を展開し、新規顧客やリピーターを獲得していくとともに、時代の変化と市場のニーズに対応した柑橘の販売方法を確立し、販路を拡大していくことで、売上アップと新たな雇用の創出に繋げていく。

4 県民参画に向けた取組

- ・中村商工会議所総会での第3期計画の説明(5/17)
- ・四万十市西土佐商工会総会での第3期計画の説明(5/20)
- ・産業振興計画シンポジウムの開催(宿毛市、5/30)
- ・大月町行政連絡会(区長会)での第3期計画の説明(5/31)
- ・三原村集落活動センター推進協議会委員総会での第3期計画の説明(6/1)
- ・幡多信用金庫との情報共有会議での第3期計画の説明(6/9)
- ・四国銀行(7/11)各支店長等と地域本部との情報共有会議での第3期計画の説明

5 相談案件：6件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/10	水産	大学と連携したナマズの養殖について
2	6/6	水産加工	増産や HACCP 取得に向けた設備投資への補助制度について
3	6/9	農産物	新たな柑橘系果物の生産拡大における雇用助成制度について
4	6/16	養鶏	養鶏による地元ブランド造成事業について
5	6/20	観光	交流人口拡大に向けた観光事業会社の起業について
6	7/16	農業	肥料製造に向けた起業支援について



有望素材シート（28年度追加分）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	宿毛市	素材名 関連素材	柑橘（温州みかん、ポンカン、文旦など）
現状・課題	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和47年より、みかん農園の経営を開始し、現在、宿毛市田ノ浦を中心に、四万十市や黒潮町でも農園を展開。温州みかんをはじめ、文旦、小夏などの12種類の柑橘を年間を通じて生産するとともに、近年では文旦ジュースなどの加工品の製造・販売にも着手している。 従業員5名。前期の売上見込み額【平成27年8月～平成28年7月】は、4,300万円。（平成26年度決算額 4,000万円） 主な販売先としては、直営店ほか、県内外のスーパー、ホテル、道の駅、直販所など。その他、自社HPやカタログなどによるPR販売を実施している。 「目指せ！ 弥太郎 商人塾」の第5期生として、ビジネス手法を習得。さらに、平成27年度～28年度の2カ年に亘り、「高知県産業振興アドバイザー制度」を活用し、新たな事業展開を見据えた経営戦略と中長期計画を策定している。 <p><課題></p> <p>○売上アップに向けた新たな市場開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営を安定させるためには、既存の取引先や顧客に加え、新たな個人顧客や取引先の開拓とリピーターを獲得することが必要。 ネット利用者の増加によりネット販売や通販販売による売上が拡大していることから、時代の趨勢に応じた既存の販売方法の見直し等も必要。 近年、核家族化による発注量の変化や、加工品需要の増加など、消費者ニーズが多様化している。顧客の満足度を高めるためにも、小ロットでの販売や様々なニーズに応じた新商品の提案など、きめ細やかな対応が必要。 		
今後の方向性	<p>(1) シトラスビューティー（柑橘等を利用した美容と健康の増進）事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 美容やダイエットに興味がある30～50代の女性をターゲットに、柑橘等を利用した美容と健康のイベントを計画中。今秋よりイベントを随時開催していく。また、こうしたイベント等を通じてユーザーの声を吸い上げ、新たな事業展開（有機栽培等による商品づくり、シトラスビューティーが提供できる店舗経営など）に繋げ、顧客への満足度を高めていくことで、さらなる売上増を目指す。 将来的には、地元を巻き込んだ取り組みとして、地元の宿泊施設や県内外の美容院との連携、旬の地元食材の活用なども視野に入れて検討していく。 <p>(2) 既存商品（柑橘・加工品）のPR促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後、市場調査や販売促進のための県外での商談会や各種イベント等に積極的に参加していく。 ホームページのリニューアルを含む、販売促進のためのPR資材等の製作して、商品のPRに努める。 発注単位の細分化対応など販売方法の見直しを検討するとともに、消費者のニーズに応じた新商品を開発する。 市場調査やユーザーの声を踏まえて、有機栽培や減農薬栽培にも取り組んでいく。 将来的には、販売量に見合った加工施設・設備等の整備も併せて検討する。 		

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

項目	取り組み名	幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等事業				
	関係市町村名	宿毛市				
事業の概要	<p>地元産の柑橘等を利用した新たな事業を展開し、新規顧客やリピーターを獲得していくとともに、時代の変化と市場のニーズに対応した柑橘の販売方法を確立し、販路を拡大していくことで、売上アップと新たな雇用の創出に繋げていく。</p> <p>(1) 新事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 柑橘等を活用した健康と美の意識を高めるためのセミナー等の開催及び事業展開 健康志向の新商品開発やシトラスビューティーに関するサービスの提供 美容と健康を提案できる柑橘の販売システムの構築 <p>(2) 既存商品の販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域イベントへの参加、自主企画 発注単位の細分化対応、有機栽培、減農薬栽培への継続的な取り組み HPのリニューアルや販促PR資材等の製作、商談会への参加 加工施設・設備等の整備検討 					
事業主体等	<p>【事業主体】 宍成田果樹園</p> <p>【関係機関】 宿毛市、宿毛商工会議所</p>					
主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H28】	1年後【H29】	2年後【H30】	3年後【H31】	4年後【H32～】
	新事業の展開	柑橘を利用した美容と健康の（プレ含む）セミナー等開催（県内中心）	四国をはじめ、大阪、福岡での事業展開		大阪、福岡を中心とした西日本への事業拡大検討	首都圏への事業展開
指標・目標	項目（期末：12月末）	事業実施【H28】	1年後【H29】	2年後【H30】	3年後【H31】	4年後【H32～】
	売上高	47,000千円	53,000千円	59,000千円	65,000千円	75,000千円
	【設定根拠】	<p>【推計の考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存事業売上に当計画により増加する売上を合算 イベント実施数の増加、イベント開催エリアの拡大、新商品等の開発を行い販路拡大に努める 				

第3期計画				H32以降	指標及び目標		
H28	H29	H30	H31		指標	目標値(H31)	
						売上高 (H26:40,000千円) (H27見込: 43,000千円)	65,000千円
新事業の展開							
柑橘を利用した美容と健康の(ブレ含む)セミナー等開催(県内中心)	四国をはじめ、大阪、福岡での事業展開		大阪、福岡を中心とした西日本への事業拡大検討	首都圏への事業拡大			
健康志向の新事業向け新商品の開発、サービス提供の検討							
				新商品提供のための店舗整備検討			
美容と健康を提案できる柑橘の販売システムの構築							
							
既存商品の販路拡大							
発注単位の細分化対応、有機栽培、減農薬栽培への継続的な取り組み							
地域イベントの企画・参加							
HPのリニューアル	商談会参加						
		販促PR資材等の製作		加工施設・設備等の整備検討			